

1次元レーザーバーコードリーダー 完全版日本語マニュアル



Ver2.00

※型番/FWによって対応していない設定項目がございます。

目次

1. 設定方法	8
2. インターフェイスの設定	10
3. Keyboard wedge (PS/2) インターフェイス	10
3-1. キーボードタイプ	10
3-2. キーボードレイアウト (Keyboard wedge (PS/2) インターフェイス)	10
3-3. クロック周期	11
3-3. クロック周期	11
3-4. 電源投入時のシミュレーション	12
3-5. コード間遅延	12
3-5. 文字間遅延	13
3-6. Caps Lock 逆転	13
3-7. Caps Lock 機能禁止	13
4. RS-232 の設定	14
4-1. フロー制御/フローコントロール	14
4-2. 文字間遅延 (RS-232)	14
4-3. レスポンス遅延 (RS-232)	15
4-4. BandRate	16
4-5. Parity bit	17
4-6. Data bit	17
4-7. Stop bit	17
4-8. ホストタイプ	18
5. USB インターフェイスの設定	19
5-1. USB デバイスタイプ	19
5-2. キーボードタイプ (USB)	20
5-3. 文字間遅延 (USB)	21
5-4. 数字キーのエミュレート (USB)	21
6. スキャンモード・その他設定	22
6-1. スキャン (照射) モード	22
6-2. 待機時間	23
6-3. 同一コード遅延	24
6-4. 送信前確認 (誤読チェック)	25
6-5. 桁数制限 (最大・1次元コードのみ) UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。	26
6-6. 桁数制限 (最小・1次元コードのみ) UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。	27
6-7. G1-G4 列選択	28
6-8. 要素の改正 (補正読取り)	28
6-9. 出力文字形式の制限	29
6-10. デコーダの最適化 (読取り強化)	29
6-11. スリープモードに入る時間	29
6-12. NO READ 送信	30
6-13. 文字符号化方式 (キャラクタエンコード)	31

7. インジケータ	32
7-1 起動音	32
7-2 LED 表示	32
7-3 ブザー音	32
7-4 ビープ音の長さ	33
7-5 ブザーの音量	34
7-6 ブザーの周波数 (ヘルツ)	34
8. UPC-A	35
8-1 UPC-A の読取り	35
8-2 UPC-A チェックディジットの確認	35
8-3 UPC-A チェックディジットの送信	35
8-4 コード ID カスタマイズ	36
8-5 グループ選択を挿入	37
8-6 UPC-A 補助桁 (アドオンコード)	38
8-7 UPC-A 送信変換 (切り捨て・JAN への変換など)	38
9. UPC-E	39
9-1 UPC-E の読取り	39
9-2 UPC-E チェックディジットの確認	39
9-3 UPC-E チェックディジットの送信	39
9-4 コード ID カスタマイズ	40
9-5 グループ選択を挿入	41
9-6 UPC-E 補助桁 (アドオンコード)	42
9-7 UPC-E 送信変換 (切り捨て・JAN への変換など)	42
10. UPC-E1	43
10-1 UPC-E1 の読取り	43
10-2 UPC-E チェックディジットの確認	43
10-3 UPC-E チェックディジットの送信	43
10-4 コード ID カスタマイズ	44
10-5 グループ選択を挿入	45
10-6 UPC-E1 補助桁 (アドオンコード)	46
10-7 UPC-E1 送信変換 (切り捨て・JAN への変換など)	46
11. JAN-13(ISBN/ISSN).....	47
11-1 JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り	47
11-2 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認	47
11-3 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信	47
11-4 コード ID カスタマイズ(JAN13).....	48
11-5 グループ選択を挿入	49
11-6 JAN-13 補助桁 (アドオンコード)	50
11-7 ISBN/ ISSN 変換	50
11-8 コード ID カスタマイズ(ISBN/ISSN).....	51
12. JAN-8	52

12-1	JAN-8 の読取り	52
12-2	JAN-8 チェックディジットの確認	52
12-3	JAN-8 チェックディジットの送信	52
12-4	コード ID カスタマイズ	53
12-5	グループ選択を挿入	54
12-6	JAN-8 補助桁 (アドオンコード)	55
12-7	切り捨て・拡張	55
13.	CODE 39	56
13-1	CODE39 の読取り	56
13-2	CODE39 チェックディジットの確認	56
13-3	CODE39 チェックディジットの送信	56
13-4	CODE39 : 最大読取り桁数	57
13-5	CODE39 : 最小読取り桁数	58
13-6	コード ID カスタマイズ	59
13-7	グループ選択を挿入	60
13-8	CODE39 : フォーマット	61
13-9	CODE39 : スタート・ストップ	61
13-10	“*” データ文字として認識	61
13-11	Code 39 を Code 32 に変換	61
13-12	コード 32 プレフィックス"A"送信	62
13-13	Trioptic Code 39 の読み取り	62
13-14	Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送	62
14.	Interleaved 2 of 5 (ITF)	63
14-1	Interleaved 2 of 5 の読取り	63
14-2	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認	63
14-3	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信	63
14-4	Interleaved 2 of 5 : 最大読取り桁数	64
14-5	Interleaved 2 of 5 : 最小読取り桁数	65
14-6	コード ID カスタマイズ	66
14-7	グループ選択を挿入	67
15.	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)	68
15-1	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) の読取り	68
15-2	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最大読取り桁数	69
15-3	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最小読取り桁数	70
15-4	コード ID カスタマイズ	71
15-5	グループ選択を挿入	72
16.	Matrix 2 of 5	73
16-1	Matrix 2 of 5 の読取り	73
16-2	Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認	73
16-3	Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信	73
16-4	Matrix 2 of 5 : 最大読取り桁数	74

16-5	Matrix 2 of 5 : 最小読取り桁数.....	75
16-6	コード ID カスタマイズ	76
16-7	グループ選択を挿入.....	77
17.	Codabar (NW-7)	78
17-1	Codabar の読取り	78
17-2	Codabar チェックディジットの確認	78
17-3	Codabar チェックディジットの送信	78
17-4	Codabar : 最大読取り桁数	79
17-5	Codabar : 最小読取り桁数	80
17-6	コード ID カスタマイズ	81
17-7	グループ選択を挿入.....	82
17-8	Codabar Start/End タイプ.....	83
17-9	Codabar Start/End の送信.....	83
17-10	Codabar 先頭末尾確認	83
18.	Code128.....	84
18-1	Code128 の読取り	84
18-2	Code128 チェックディジットの確認	84
18-3	Code128 チェックディジットの送信	84
18-4	Code128 : 最大読取り桁数	85
18-5	Code128 : 最小読取り桁数	86
18-6	コード ID カスタマイズ	87
18-7	グループ選択を挿入.....	88
18-8	Code128 先頭 0 の切り捨て.....	89
19.	UCC/EAN 128.....	90
19-1	UCC/EAN 128 の読取り	90
19-2	UCC/EAN 128 チェックディジットの確認	90
19-3	UCC/EAN 128 チェックディジットの送信	90
19-4	UCC/EAN 128 : 最大読取り桁数.....	91
19-5	UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数.....	92
18-6	コード ID カスタマイズ	93
18-7	グループ選択を挿入.....	94
18-8	UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て.....	95
19.	ISBT128	96
19-1	ISBT128 の読取り	96
19-2	ISBT128 チェックディジットの確認.....	96
19-3	ISBT128 チェックディジットの送信.....	96
19-4	ISBT128 : 最大読取り桁数	97
19-5	ISBT128 : 最小読取り桁数	98
19-6	コード ID カスタマイズ	99
19-7	グループ選択を挿入.....	100
20.	CODE93	101

20-1	CODE93 の読取り	101
20-2	CODE93 チェックディジットの確認.....	101
20-3	CODE93 チェックディジットの送信.....	101
20-4	CODE93 : 最大読取り桁数	102
20-5	CODE93 : 最小読取り桁数	103
20-6	コード ID カスタマイズ	104
20-7	グループ選択を挿入.....	105
21.	CODE11.....	106
21-1	CODE11 の読取り	106
21-2	CODE11 チェックディジットの確認.....	106
21-3	CODE11 チェックディジットの送信.....	106
21-4	CODE11 : 最大読取り桁数.....	107
21-5	CODE11 : 最小読取り桁数.....	108
21-6	コード ID カスタマイズ	109
21-7	グループ選択を挿入.....	110
22.	MSI/PLESSEY.....	111
22-1	MSI/PLESSEY の読取り	111
22-2	MSI/PLESSEY チェックディジットの確認	111
22-3	MSI/PLESSEY チェックディジットの送信	111
22-4	MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数.....	112
22-5	MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数.....	113
22-6	コード ID カスタマイズ	114
22-7	グループ選択を挿入.....	115
23.	UK/PLESSEY	116
23-1	UK/PLESSEY の読取り	116
23-2	UK/PLESSEY チェックディジットの確認.....	116
23-3	UK/PLESSEY チェックディジットの送信.....	116
23-4	UK/PLESSEY : 最大読取り桁数	117
23-5	UK/PLESSEY : 最小読取り桁数	118
23-6	コード ID カスタマイズ	119
23-7	グループ選択を挿入.....	120
24.	CHINA POST.....	121
24-1	CHINA POST の読取り	121
24-2	CHINA POST : 最大読取り桁数.....	122
24-3	CHINA POST : 最小読取り桁数.....	123
24-4	コード ID カスタマイズ	124
24-5	グループ選択を挿入.....	125
25.	TELEPEN	126
25-1	TELEPEN の読取り	126
25-2	TELEPEN チェックディジットの確認.....	126
25-3	TELEPEN チェックディジットの送信.....	126

25-4	TELEPEN：最大読取り桁数	127
25-5	TELEPEN：最小読取り桁数	128
25-6	コード ID カスタマイズ	129
25-7	グループ選択を挿入.....	130
26.	GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)	131
26-1	GS1 DataBar の読取り	131
26-2	コード ID カスタマイズ	132
26-3	グループ選択を挿入.....	133
26-4	GS1 DataBar の変換.....	134
27.	GS1 DataBar Limited	135
27-1	GS1 DataBar Limited の読取り	135
27-2	コード ID カスタマイズ	136
27-3	グループ選択を挿入.....	137
27-4	GS1 DataBar Limited の変換	138
28.	GS1 DataBar Expanded	139
28-1	GS1 DataBar Expanded の読取り	139
28-2	GS1 DataBar Expanded：最大読取り桁数.....	140
28-3	GS1 DataBar Expanded：最小読取り桁数.....	141
28-4	コード ID カスタマイズ	142
28-5	グループ選択を挿入.....	143
28-6	GS1 DataBar Expanded の変換.....	144
29.	出力文字の編集-1	145
29-1	先頭に文字を付加する	145
29-2	末尾に文字を付加する	147
29-3	文字を任意の位置に挿入する	149
29-4	指定した文字を別の文字に置き換える。(置換機能)	153
29-5	文字列の削除 (back space 付加)	157
30.	出力文字の編集-2	160
30-1	コード名の表示.....	160
30-2	コード ID の表示	160
30-3	コード名の文字数の出力	160
30-4	大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信.....	161
30-5	制御キャラクタの末尾付加コード出力設定	161
30-6	先頭から文字を抜き出す	162
30-7	末尾から文字を抜き出す	163
31.	各バーコードのデフォルト設定参照.....	164
32.	ASCII コード表	165
33.	オプションコード表	166
◆	初期化	167
◆	バージョンの確認	167
◆	サンプルバーコード.....	168

1. 設定方法

○設定について（設定前にご確認下さい）**※設定後は USB ケーブルを抜き差しして下さい。**

設定方法は下記の 2 種類がございます。

1. クイックバーコード設定

※一部の FW（2016 年以前）はクイックバーコード設定に対応してない場合がございます。

定義：この設定コードのみを読み取ることで設定が完了となります。

下記のクイックバーコード「%0505D00%」のコードを読み取ると「音量・小」が設定されます。

音量小



2. マルチスキャンコード

バーコードを複数読み取ることで設定が可能です。

下記の「例 1:設定内容」の文字間設定で 20ms の設定を行いたい場合は

例 2 のように「%SETUP」→「%0903M%」→「0」→「3」→「%END%」

順でバーコードを読み取って下さい。

例 1：設定内容

	数字コード	内容
文字間遅延 0903	0→0	0ms（デフォルト）
	0→1	5ms
	0→2	10ms
	0→3	20ms

例 2：「文字間遅延を 20ms」に設定する。







3. 各モデルの設定方法一覧

型番	マルチスキャンコード	クイックバーコード
MD210+/MD210AT+	○対応	○対応
MD200+/MD200AT+	○対応	○対応
MD220BT	○対応	○対応
MD100/MD110BT	○対応	×非対応
MD201/MD301BT	×非対応	○対応

2. インターフェイスの設定



バーコードリーダーでご利用になられるインターフェイスを固定化出来ます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0101	0→0	自動選択 ※デフォルト	 %0101D00%
	0→1	KeyBoard Wedge (PS/2)	 %0101D01%
	0→2	RS-232C	 %0101D02%
	0→3	USB	 %0101D03%

3. Keyboard wedge (PS/2) インターフェイス





3-1. キーボードタイプ

接続される端末に合わせて設定ください。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0201	0→0	IBM AT, PS/2 ※デフォルト	 %0201D00%
	0→1	Apple Mac	 %0201D01%

3-2. キーボードレイアウト (Keyboard wedge (PS/2) インターフェイス)

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0202	0→0	USA (英語) ※デフォルト	 %0202D00%
	0→1	Turkish F	 %0202D01%
	0→2	Turkish Q	 %0202D02%
	0→3	French	 %0202D03%
	0→4	Italian	 %0202D04%
	0→5	Spanish	 %0202D05%
	0→6	Slovak	 %0202D06%
	0→7	Denmark	 %0202D07%

	0→8	Japanese (日本語)	 %0202D08%
	0→9	German	 %0202D09%
	1→0	Belgian	 %0202D10%
	1→1	Russian	 %0202D11%



3-3. クロック周期


PS2 プロトコルに従って、設定をします。周期は 60~100us です。通常は使用しません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0203	0→0	60us	 %0203D00%
	0→1	70us	 %0203D01%
	0→2	80us ※デフォルト	 %0203D02% *
	0→3	90us	 %0203D03%
	0→4	100us	 %0203D04%

3-3. クロック周期



数字キーの入力方法を設定する際に使用します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0205	0→0	アルファベットキー ※デフォルト	 %0205D00% *
	0→1	テンキー	 %0205D01%

	0→2	Alt+keypad	 %0205D02%
--	-----	------------	--

3-4. 電源投入時のシミュレーション

PC 電源を入れた際にバーコードリーダーが繋がっていた場合、PC に信号を送ります。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0206	0→0	無効 ※デフォルト	 %0206D00%
	0→1	有効	 %0206D01%





3-5. コード間遅延

バーコードを読み取った後に次のコードを読み取るまでに遅延を入れます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0207	0→0	0ms ※デフォルト	 %0207D00%
	0→1	5ms	 %0207D01%
	0→2	10ms	 %0207D02%
	0→3	20ms	 %0207D03%
	0→4	40ms	 %0207D04%
	0→5	80ms	 %0207D05%

3-5. 文字間遅延

バーコードを読み取った際にバーコードの文字、1文字毎に遅延を入れます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0208	0→0	1ms ※デフォルト	 %0208D00%
	0→1	2ms	 %0208D01%
	0→2	4ms	 %0208D02%
	0→3	8ms	 %0208D03%



3-6. Caps Lock 逆転

バーコードを読み取った際に CapsLock を逆転させます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0209	0→0	無効 ※デフォルト	 %0209D00%
	0→1	有効	 %0209D01%

3-7. Caps Lock 機能禁止

バーコードを読み取った際に CapsLock 機能を禁止にする。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0210	0→0	無効 ※デフォルト	 %0210D00%
	0→1	有効	 %0210D01%

4.RS-232 の設定

4-1. フロー制御/フローコントロール


RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0301	0→0	None ※デフォルト	 %0301D00% *
	0→1	RTS/CTS (Host idle: Low RTS)	 %0301D01%
	0→2	RTS/CTS (Host idle: High RTS)	 %0301D02%
	0→3	XON/XOFF	 %0301D03%
	0→4	ACK/NAK	 %0301D04%

4-2. 文字間遅延 (RS-232)

バーコードを読み取った際にバーコードの文字、1文字毎に遅延を入れます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0302	0→0	0ms ※デフォルト	 %0302D00% *
	0→1	5ms	 %0302D01%
	0→2	10ms	 %0302D02%
	0→3	20ms	 %0302D03%
	0→4	40ms	 %0302D04%

	0→5	80ms	 %0302D05%
--	-----	------	--

4-3. レスポンス遅延 (RS-232)

レスポンス応答に遅延を入れます。「0301」と併用する必要があります。

「0304」を読み取り遅延を入れたい時間 (ms) を指定します。

例：2s (2000ms) 遅延を入れる

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	0→0	遅延なし
	01~99 (100ms) ※デフォルト値は 20	例：2s (2000ms) の遅延を入れる場合は $20 * 100ms = 2s$ 「%SETUP」 → 「0304」 → 「2」 → 「0」 → 「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルトは 20 (2s) ※設定単位は 100ms











数字バーコード読み取り (マルチスキャン用)

数字コード部分に従って読み取りを行います。






4-4. BandRate

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0305	0→0	300	 %0305D00%
	0→1	600	 %0305D01%
	0→2	1200	 %0305D02%
	0→3	2400	 %0305D03%
	0→4	4800	 %0305D04%
	0→5	9600 ※デフォルト	 %0305D05% *
	0→6	19200	 %0305D06%
	0→7	38400	 %0305D07%
	0→8	57600	 %0305D08%
	0→9	115200	 %0305D09%



4-5. Parity bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0306	0→0	None ※デフォルト	 %0306D00% *
	0→1	Odd	 %0306D01%
	0→2	Even	 %0306D02%



4-6. Data bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0307	0→0	8bit ※デフォルト	 %0307D00% *
	0→1	7bit	 %0307D01%

4-7. Stop bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0308	0→0	One bit ※デフォルト	 %0308D00% *
	0→1	Two bits	 %0308D01%

4-8. ホストタイプ

標準規格：通常の PC の RS-232C ポートを使用される際はこちらをご利用下さい。

OPOS/JPOS：OPOS/JPOS 等のシステム PC をご利用の際はこちらをご利用下さい。

ドライバはご利用されている OPOS/JPOS システムのものをご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0310	0→0	標準規格 ※デフォルト	 %0310D00% *
	0→1	OPOS/JPOS	 %0310D01%

5.USB インターフェイスの設定

5-1. USB デバイスタイプ

USB 接続の際の制御方法を指定します。

設定後は **USB** の抜き差しが必要です。

○説明

HID キーボード：WindowsPC 等と接続される際はこちらをご利用下さい






HID (Apple Mac)：Macbook 等の AppleMac 製品をご利用の際はこちらをご利用下さい

VirtualCom：COM エミュレーションが必要な際にご利用下さい。

SimpleCOM：ホスト側で指定がある場合にご利用下さい。

HID OPOS/JPOS：OPOS/JPOS でご利用の際に設定して下さい。













ドライバは別途、OPOS/JPOS のものをご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0901	0→0	HID キーボード ※デフォルト	 %0901D00% *
	0→1	HID キーボード (Apple Mac)	 %0901D01%
	0→2	Virtual COM	 %0901D02%
	0→3	Simple COM エミュレーション	 %0901D03%
	0→4	HID OPOS/JPOS	 %0901D04%

5-2. キーボードタイプ (USB)

お使いの PC に合わせて設定を行って下さい。

通常は「日本語」ですが、ネットブックやノート PC は「US」の場合がございます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0902	0→0	US ※デフォルト	 %0902D00% *
	0→1	Turkish F	 %0902D01%
	0→2	Turkish Q	 %0902D02%
	0→3	French	 %0902D03%
	0→4	Italian	 %0902D04%
	0→5	Spanish	 %0902D05%
	0→6	Slovak	 %0902D06%
	0→7	Denmark	 %0902D07%
	0→8	Japanese (日本語)	 %0902D08%
	0→9	German	 %0902D09%
	1→0	Belgian	 %0902D10%
1→1	Russian	 %0902D11%	




5-3. 文字間遅延 (USB)

バーコードデータ文字毎に遅延を入れる設定です。
 お使いの PC よりバーコードリーダーの送信速度が早く、
 処理ができない場合などにご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0903	0→0	0ms	 %0903D00%
	0→1	5ms ※デフォルト	 %0903D01% *
	0→2	10ms	 %0903D02%
	0→3	20ms	 %0903D03%
	0→4	40ms	 %0903D04%
	0→5	60ms	 %0903D05%

5-4. 数字キーのエミュレート (USB)

アルファベットキー：キーボードの数字キーを使い送信を行います。
 テンキー：「1～9」の数字キー、「+」「-」「*」「/」「.」キーをテンキー操作で送信します。
 Alt+keypad：様々なキーボード体型用の送信方法です。
 Num Lock キーのコントロールキーがオンでなければならないことに注意してください。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0904	0→0	アルファベット キー ※デフォルト	 %0904D00% *
	0→1	テンキー	 %0904D01%
	0→2	Alt+keypad	 %0904D02%

6. スキャンモード・その他設定

6-1 スキャン（照射）モード

内容	説明
グッドリード	トリガーを引いてコードを読み取るか一定時間立つまで照射します。
トリガーモード	トリガーを引いている間、照射を続けます。
トリガー交互	トリガーを1度引くと照射開始、もう一度トリガーを引いてコードを読むと消灯。
常時照射	トリガーの操作無し状態で照射が出続けます。
タイムアウト OFF	トリガーを引いて一定時間立つまで照射します。
自動検出	バーコードを近づけると自動で照射し読取りを行えます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0401 ※注：この設定内容は初期化設定してもリセットされません	0→0	グッドリード	 %0401D00%
	0→1	トリガーモード ※デフォルト	 %0401D01% *
	0→2	トリガー交互	 %0401D02%
	0→3	常時照射	 %0401D03%
	0→4	タイムアウト OFF	 %0401D04%
	0→5	自動検出 ※ATシリーズのみ	 %0401D05%

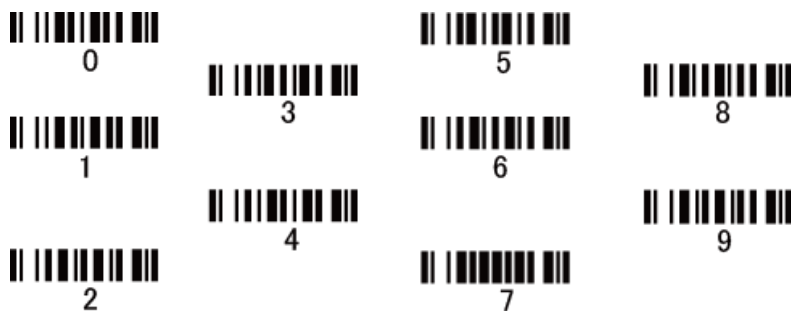
6-2. 待機時間

グッドリード・タイムアウト OFF・自動検出モード時に照射する時間の設定を行います。2桁数字を読取ります。

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>0402</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>01～99 (100ms) ※デフォルト値は 40</p>	<p>例：4s (4000ms) の照射時間に設定したい場合は $40 * 100\text{ms} = 4\text{s} (4000\text{ms})$ 「%SETUP」 → 「0402」 → 「4」 → 「0」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 40 (4s) ※最大 99 秒まで ※設定単位は 100ms</p>

数字バーコード読み取り (マルチスキャン用)

数字コード部分に従って読み取りを行います。



6-3. 同一コード遅延




常時照射モードの際に同一コードを連続して読み取る際に設定した時間、読取りを無効にします。

設定した値（16進数→10進数に変換が必要）×100ms が反映されます。

例：「0」→「A」だと $10 \times 100\text{ms} = 1000\text{ms}$ (1s)

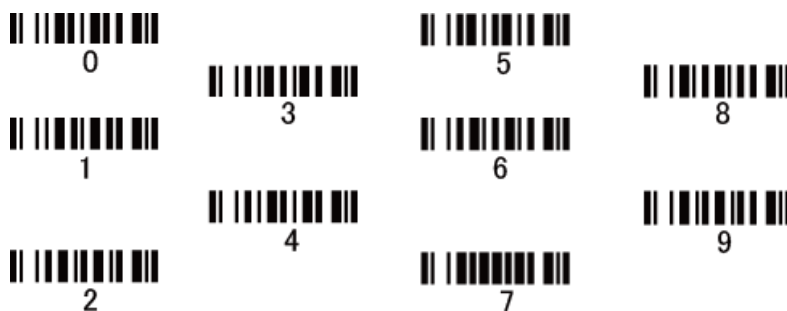
「1」→「0」だと $16 \times 100\text{ms} = 1600\text{ms}$ (1.6s) の読取りが無効になります。

※最大 99 まで、「F」→「F」と設定すると同じコードの連続読み取りを禁止します。

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>0403</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00～FF (16進数) (100ms) ※デフォルト値は 0A</p>	<p>例：1000ms (1s) の照射遅延に設定したい場合は</p> <p>$1000\text{ms} = 10 \times 100\text{ms}$ 10 (10進数) = 0A (16進数)</p> <p>「%SETUP」→「0403」→「0」→「A」→「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 0A (1s) ※「F」→「F」で直前同一コード禁止 ※設定単位は 100ms</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）


数字コード部分に従って読み取りを行います。



6-4. 送信前確認（誤読チェック）

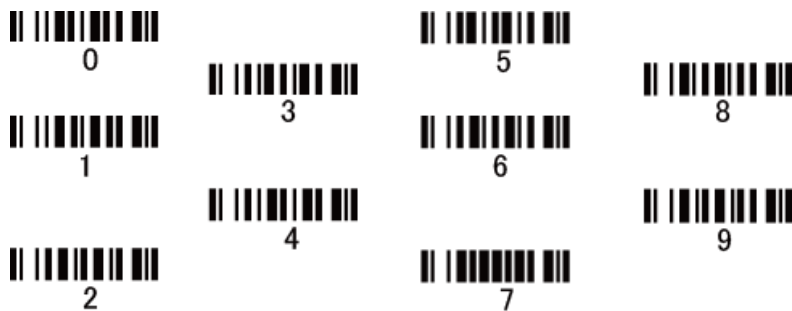
指定した回数、バーコードを誤読していないかチェックを行います。

例：「0」→「4」だと4回 ※最大09まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>0404</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00～09 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：2回誤読チェックに設定したい場合は 「%SETUP」→「0404」→「0」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は00（チェックなし） ※最大9回まで</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。




6-5. 桁数制限（最大・1次元コードのみ）

UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

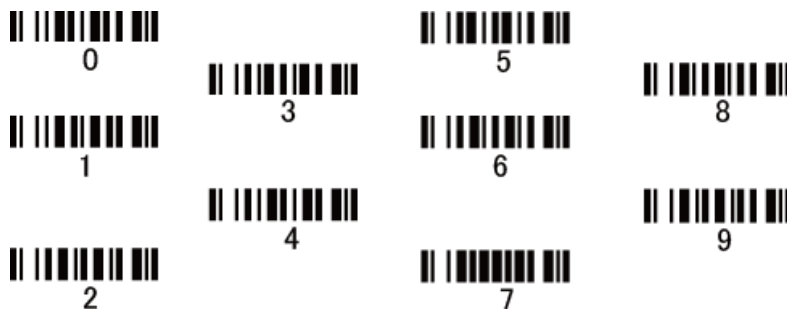
指定した桁数より大きい桁数のバーコードの読取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁まで読取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	<p>04～99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：最大読み取り桁数を 10 桁に設定したい場合は</p> <p>「%SETUP」→「0405」→「1」→「0」→「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99 ※UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



6-6. 桁数制限（最小・1次元コードのみ）

UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

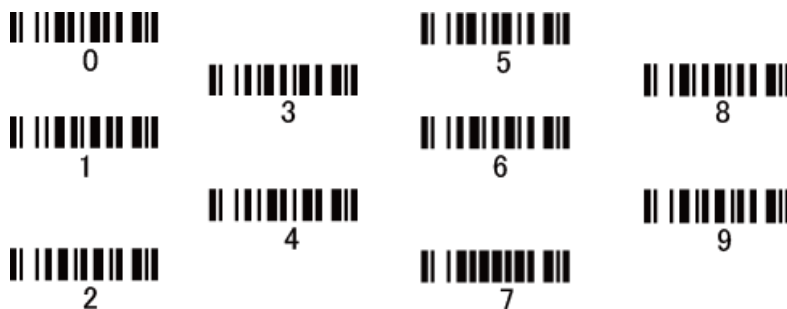
指定した桁数より小さい桁数のバーコードの読み取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁以上読み取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	<p>04～99 ※デフォルト値は04。</p>	<p>例：最小読み取り桁数を10桁に設定したい場合は 「%SETUP」→「0406」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は04 ※UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8には無効です</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



6-7. G1-G4 列選択

スキャナは全てのシンボルについて、1 つまたは 2 つの文字列のグループを提供します。

例：グループ 1 → 01 または 10 に設定して下さい。

グループ 2 → 24 または 42 に設定して下さい。

00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24.30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	0→0	設定なし
	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1 → 01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2 → 24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24.30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

6-8. 要素の改正（補正読取り）

バーコードの幅が異なっていたり、印字がかすれていたたりして

読めないバーコードデータを補正し取り込む設定です。

誤読が頻発する場合は OFF にします。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0408	0→0	補正読取り OFF	 %0408D00%
	0→1	補正読取り ON ※デフォルト	 %0408D01% *



6-9. 出力文字形式の制限

印刷可能な文字や英数字だけの送信などを行えます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0409	0→0	制限なし ※デフォルト	 %0409D00% *
	0→1	印刷可能文字のみ	 %0409D01%
	0→2	英数字のみ	 %0409D02%




6-10. デコーダの最適化（読取り強化）









読取りの最適化を行います。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0410	0→0	無効	 %0410D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0410D01% *

6-11. スリープモードに入る時間



スリープモードに入るまでの時間を指定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0412	0→0	1 秒	 %0412D00%
	0→1	5 秒	 %0412D01%
	0→2	10 秒	 %0412D02%

	0→3	30 秒 ※デフォルト	 %0412D03% *
	0→4	1 分	 %0412D04%
	0→5	3 分	 %0412D05%
	0→6	10 分	 %0412D06%
	0→7	30 分	 %0412D07%
	0→8	1 時間	 %0412D08%
	0→9	3 時間	 %0412D09%
	1→0	無限大 (スリープモード に入らない)	 %0412D10%




6-12. NO READ 送信

バーコードリーダーが送信失敗もしくは送信中止の時に、リーダー側から「NR」という内容を送信します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0413	0→0	無効 ※デフォルト	 %0413D00% *
	0→1	有効	 %0413D01%

6-13. 文字符号化方式（キャラクタエンコード）



ソフト側で指定がある場合もしくは送信データが文字化けした場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0415	0→0	ASCII ※デフォルト	 %0415D00% *
	0→1	UTF-8	 %0415D01%
	0→2	Windows-1251	 %0415D02%

7. インジケータ


7-1 起動音

USB 接続時のビープ音の有効、無効を設定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0501	0→0	無効	 %0501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0501D01% *



7-2 LED 表示

読み取り時の LED の点灯の有効、無効を設定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0502	0→0	無効	 %0502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0502D01% *




7-3 ブザー音

ブザー音の有効、無効を設定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0503	0→0	無効	 %0503D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0503D01% *

7-4 ビープ音の長さ

ビープ音の長さを指定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>0504</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>01-09 (25ms) ※デフォルト値は 03</p>	<p>例：ビープ音の長さを 0.1 秒に設定した場合</p> <p>$0.1s = 100ms = 4 * 25ms$</p> <p>「%SETUP」 → 「0504」 → 「0」 → 「4」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 03 (0.075s) ※設定単位は 25ms</p>




数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



7-5 ブザーの音量

読み取り音の設定をします。ミュートにする場合は上のブザー音の設定の無効にしてください。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0505	0→0	小	 %0505D00%
	0→1	中	 %0505D01%
	0→2	大 ※デフォルト	 %0505D02% *


7-6 ブザーの周波数（ヘルツ）

ブザーの周波数（ヘルツ）の設定をします。


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0506	0→0	2.7KHz ※デフォルト	 %0506D00% *
	0→1	2.5KHz	 %0506D01%
	0→2	2.3KHz	 %0506D02%

8. UPC-A

8-1 UPC-A の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1101	0→0	無効	 %1101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1101D01% *

8-2 UPC-A チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1102	0→0	無効	 %1102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1102D01% *

8-3 UPC-A チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1103	0→0	無効	 %1103D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1103D01% *

8-4 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1104</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00- FF (16 進数) (ASCII 表)</p> <p>※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容:A</p>	<p>例：コード ID を A に指定したい場合は ASCII 表：A=41 「%SETUP」→「1104」→「4」→「1」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容：A</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)







8-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1105</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



8-6 UPC-A 補助桁（アドオンコード）



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1106	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1106D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1106D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1106D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1106D03%

8-7 UPC-A 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1107	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1107D00% *
	0→1	0 を切り捨て	 %1107D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1107D02%
	0→3	システム文字 切り捨て	 %1107D03%
	0→4	国コード（US）の 追加	 %1107D04%

9. UPC-E



9-1 UPC-E の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1201	0→0	無効	 %1201D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1201D01% *

9-2 UPC-E チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1202	0→0	無効	 %1202D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1202D01% *

9-3 UPC-E チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1203	0→0	無効	 %1203D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1203D01% *

9-4 コード ID カスタマイズ



コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容:D</p>	<p>例：コード ID を D に指定したい場合は ASCII 表：D=44 「%SETUP」→「1204」→「4」→「4」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容：D</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)







9-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1205</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



9-6 UPC-E 補助桁（アドオンコード）



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1206	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1206D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1206D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1206D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1206D03%

9-7 UPC-E 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1207	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1207D00% *
	0→1	0 を切り捨て	 %1207D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1207D02%
	0→3	UPC-A に変換	 %1207D03%
	0→4	システムの文字を 切り捨て	 %1207D04%
	0→5	国コードを先頭に 付加	 %1207D05%

10. UPC-E1



10-1 UPC-E1 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3401	0→0	無効	 %3401D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3401D01% *

10-2 UPC-E チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3402	0→0	無効	 %3402D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3402D01% *

10-3 UPC-E チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3403	0→0	無効	 %3403D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3403D01% *

10-4 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容: D</p>	<p>例: コード ID を D に指定したい場合は ASCII 表: D=44 「%SETUP」→「3404」→「4」→「4」→ 「%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容: D</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)

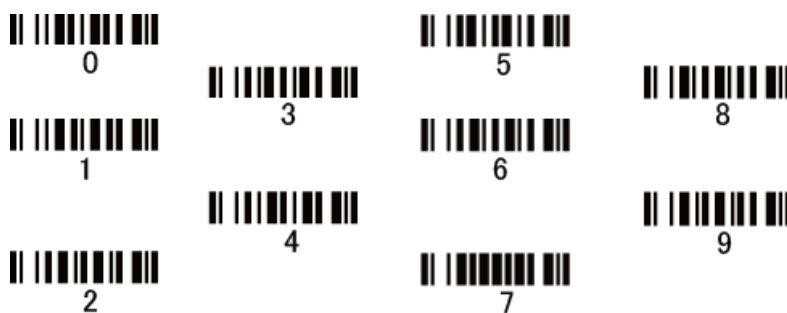


10-5 グループ選択を挿入





マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>3405</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）


数字コード部分に従って読み取りを行います。



10-6 UPC-E1 補助桁（アドオンコード）



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3406	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %3406D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %3406D01%
	0→2	5 digits 有効	 %3406D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %3406D03%

10-7 UPC-E1 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3407	0→0	何もしない ※デフォルト	 %3407D00% *
	0→2	JAN13 に変換	 %3407D02%
	0→3	UPC-A に変換	 %3407D03%
	0→4	システムの文字を 切り捨て	 %3407D04%
	0→5	国コードを先頭に 付加	 %3407D05%

11. JAN-13(ISBN/ISSN)



11-1 JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1301	0→0	無効	 %1301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1301D01% *

11-2 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1302	0→0	無効	 %1302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1302D01% *

11-3 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1303	0→0	無効	 %1303D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1303D01% *

11-4 コード ID カスタマイズ(JAN13)

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容:A</p>	<p>例：コード ID を A に指定したい場合は ASCII 表：A=41 「%SETUP」→「1304」→「4」→「1」→ 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容：A</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



0



3



5



8



A



B



1



6



C



D



2



4



7



9






E

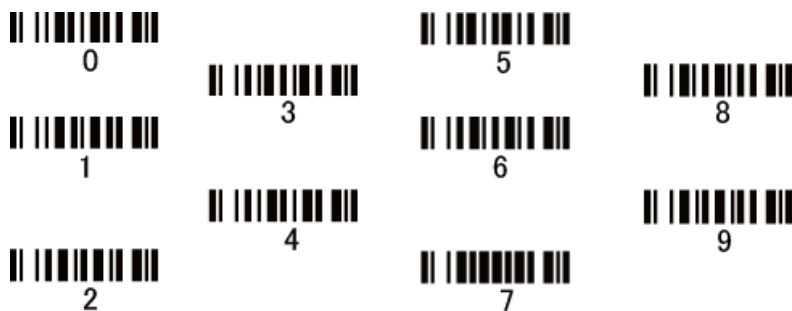


F





11-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1305</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



11-6 JAN-13 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1306	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1306D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1306D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1306D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1306D03%


11-7 ISBN/ ISSN 変換

JAN コードを ISSN・ISBN の形式に変換します。

例：

バーコード「9780194315104」、出力："019431510X"。

バーコード「9771005180004」、出力："10051805"。

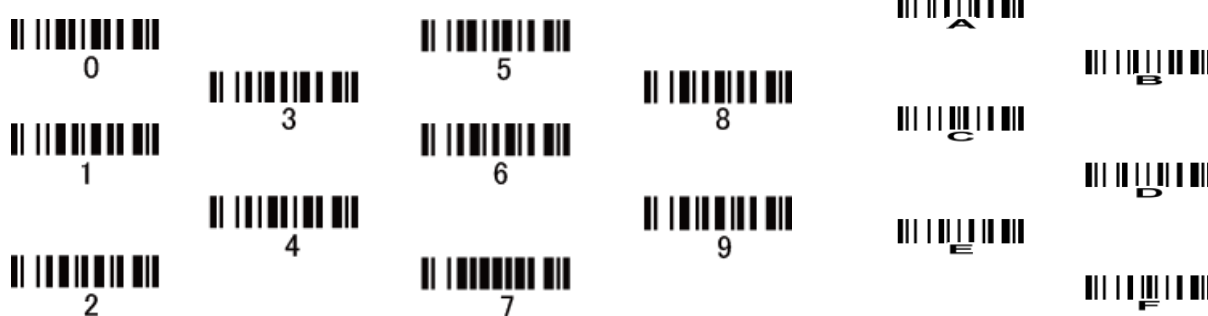
マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1307	0→0	無効 ※デフォルト	 %1307D00% *
	0→1	有効	 %1307D01%

11-8 コード ID カスタマイズ(ISBN/ISSN)

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。



マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 42 ※デフォルト内容:B</p>	<p>例：コード ID を B に指定したい場合は ASCII 表：B=42 「%SETUP」→「1309」→「4」→「2」→ 「%%%'END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 42 ※デフォルト内容：B</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



12. JAN-8



12-1 JAN-8 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1401	0→0	無効	 %1401D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1401D01% *

12-2 JAN-8 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1402	0→0	無効	 %1402D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1402D01% *

12-3 JAN-8 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1403	0→0	無効	 %1403D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1403D01% *

12-4 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1404</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表)</p> <p>※デフォルト値は 43 ※デフォルト内容:C</p>	<p>例：コード ID を C に指定したい場合は ASCII 表：C=43 「%SETUP」 → 「1404」 → 「4」 → 「3」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 43 ※デフォルト内容：C</p>

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



12-5 グループ選択を挿入





マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1405</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



12-6 JAN-8 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1406	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1406D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1406D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1406D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1406D03%

12-7 切り捨て・拡張

無し：何もしません。



先頭0切り捨て：先頭の0を切り捨てて送信します。

JAN-13に拡大：JAN13の形式にデータを変換します。


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1407	0→0	無し ※デフォルト	 %1407D00% *
	0→1	先頭0切り捨て	 %1407D01%
	0→2	JAN-13に拡大	 %1407D02%

13. CODE 39


13-1 CODE39 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1501	0→0	無効	 %1501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1501D01% *

13-2 CODE39 チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1502	0→0	無効 ※デフォルト	 %1502D00% *
	0→1	有効	 %1502D01%

13-3 CODE39 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1503	0→0	無効 ※デフォルト	 %1503D00% *
	0→1	有効	 %1503D01%

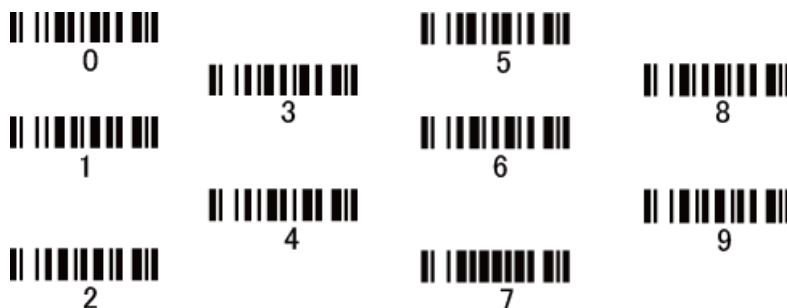
13-4 CODE39 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the scanning process for setting the maximum number of digits. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A downward arrow points to a second barcode labeled '1504'. Another downward arrow points to the text '数字コード' (Digital Code). A final downward arrow points to a third barcode labeled '%%%' followed by 'END'.</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1504」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%'END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



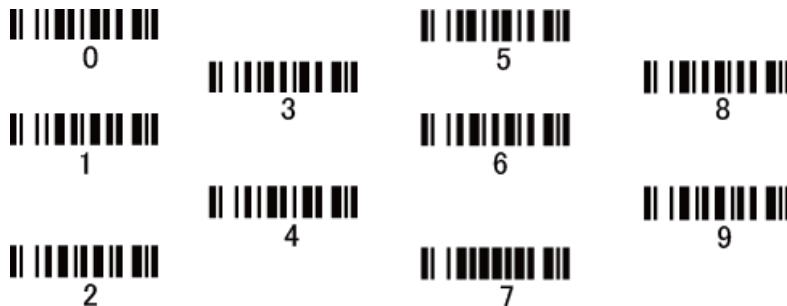
13-5 CODE39 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	00→99 ※デフォルト値は 01	<p>例：読み取り最小桁数を 5 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%SETUP」 → 「1505」 → 「0」 → 「5」 → 「%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。

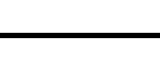
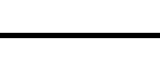


13-6 コード ID カスタマイズ



コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>マルチスキャンコード</p> <p>%SETUP</p> <p>↓</p> <p>1506</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p> <p>%%END</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表)</p> <p>※デフォルト値 4D ※デフォルト内容:M</p>	<p>例：コード ID を M に指定したい場合は ASCII 表：M=4 D 「%SETUP」 → 「1506」 → 「4」 → 「D」 → 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4 D ※デフォルト内容：M</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



13-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1507</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



13-8 CODE39 : フォーマット

CODE39 のバーコード形式に合わせて設定を行って下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1508	0→0 ※デフォルト	通常の CODE39 ※デフォルト	%1508D00% *
	0→1	FullASC II 形式	%1508D01%

13-9 CODE39 : スタート・ストップ

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1509	0→0 ※デフォルト	送信しない ※デフォルト	%1509D00% *
	0→1	送信する	%1509D01%



13-10 “*” データ文字として認識

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1510	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	%1510D00% *
	0→1	有効	%1510D01%


13-11 Code 39 を Code 32 に変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1511	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	%1511D00% *
	0→1	有効	%1511D01%


13-12 コード 32 プレフィックス"A"送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1512	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1512D00% *
	0→1	有効	 %1512D01%

13-13 Trioptic Code 39 の読み取り



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1513	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	 %1513D00% *
	0→1	送信あり	 %1513D01%

13-14 Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1514	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	 %1514D00% *
	0→1	送信あり	 %1514D01%

14. Interleaved 2 of 5 (ITF)

14-1 Interleaved 2 of 5 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1601	0→0	無効	 %1601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1601D01% *

14-2 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1602	0→0	無効 ※デフォルト	 %1602D00% *
	0→1	USS	 %1602D01%
	0→2	OPCC	 %1602D02%

14-3 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1603	0→0	無効 ※デフォルト	 %1603D00% *
	0→1	有効	 %1603D01%

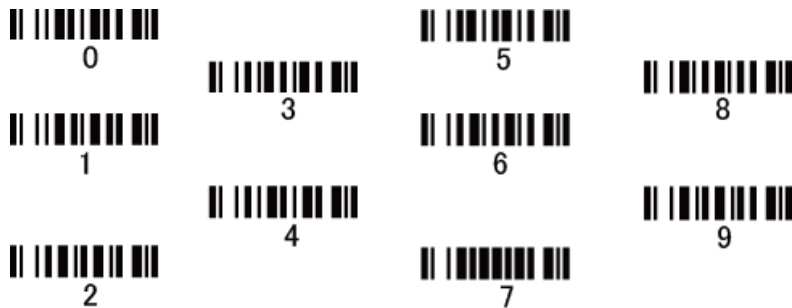
14-4 Interleaved 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1604」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



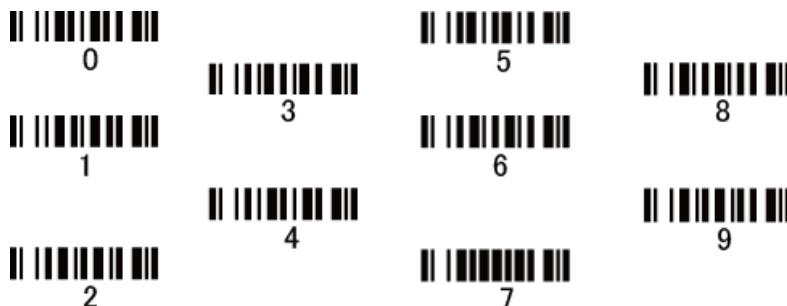
14-5 Interleaved 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	00→99 ※デフォルト値は 06	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%SETUP」 → 「1605」 → 「0」 → 「8」 → 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 06</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。

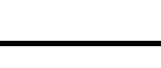


14-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1606</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 49 ※デフォルト内容:I</p>	<p>例：コード ID を I に指定したい場合は ASCII 表：I=49 「%SETUP」→「1606」→「4」→「9」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 49 ※デフォルト内容：I</p>

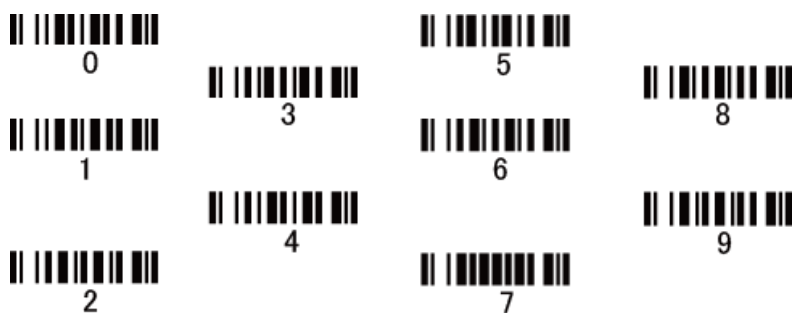
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



14-7 グループ選択を挿入


マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1607</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



15. Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)

15-1 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1701	0→0	無効 ※デフォルト	 %1701D00% *
	0→1	有効	 %1701D01%

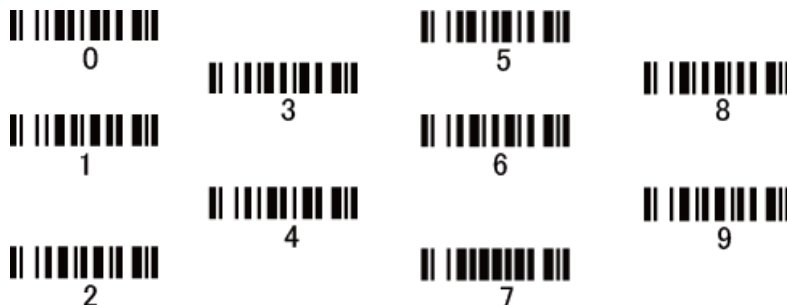
15-2 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1702」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



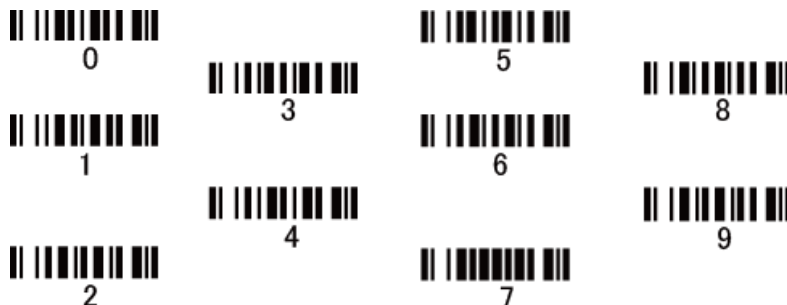
15-3 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the scanning sequence for setting the minimum number of digits. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a second barcode labeled '1703'. Another blue arrow points down to the text '数字コード' (Digital Code). A final blue arrow points down to a third barcode labeled '%%%'.</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1703」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



15-4 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of customizing a code ID. It starts with a multi-scan code represented by a barcode and the text "%SETUP". A blue arrow points down to a numeric code represented by a barcode and the text "1704". A second blue arrow points down to the text "数字コード" (Numeric Code). A third blue arrow points down to a standard code represented by a barcode and the text "%%%'".</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 48 ※デフォルト内容:H</p>	<p>例：コード ID を H に指定したい場合は ASCII 表：H=48 「%SETUP」→「1704」→「4」→「8」→ 「%%%'」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 48 ※デフォルト内容：H</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)

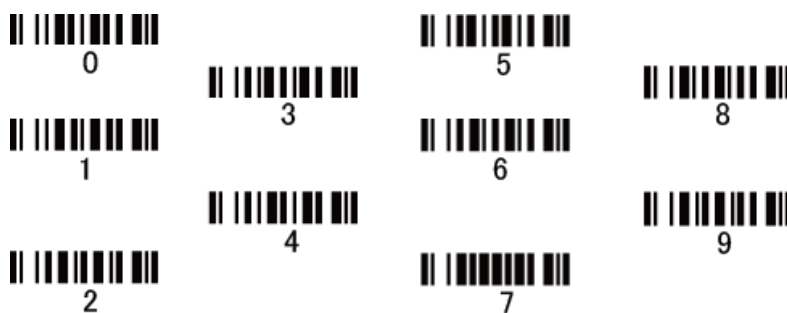


15-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1705</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>



数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



16. Matrix 2 of 5


16-1 Matrix 2 of 5 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1801	0→0	無効	 %1801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1801D01% *

16-2 Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1802	0→0	無効 ※デフォルト	 %1802D00% *
	0→1	有効	 %1802D01%

16-3 Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1803	0→0	無効 ※デフォルト	 %1803D00% *
	0→1	有効	 %1803D01%

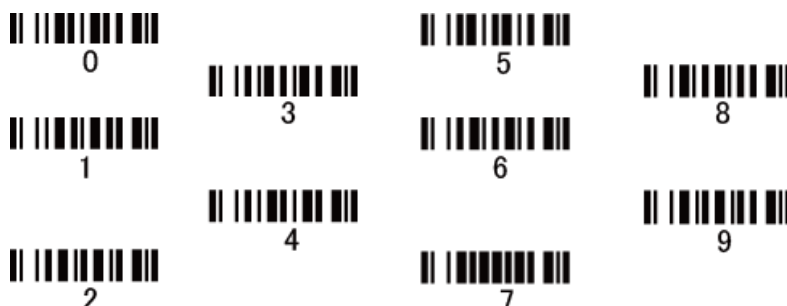
16-4 Matrix 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1804」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



16-5 Matrix 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the scanning process for setting the minimum number of digits. It shows three barcode scans in sequence, connected by downward-pointing blue arrows. The first scan is labeled '%SETUP', the second is '1805', and the third is '%%%' followed by 'END'.</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 06</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1805」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 06</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。

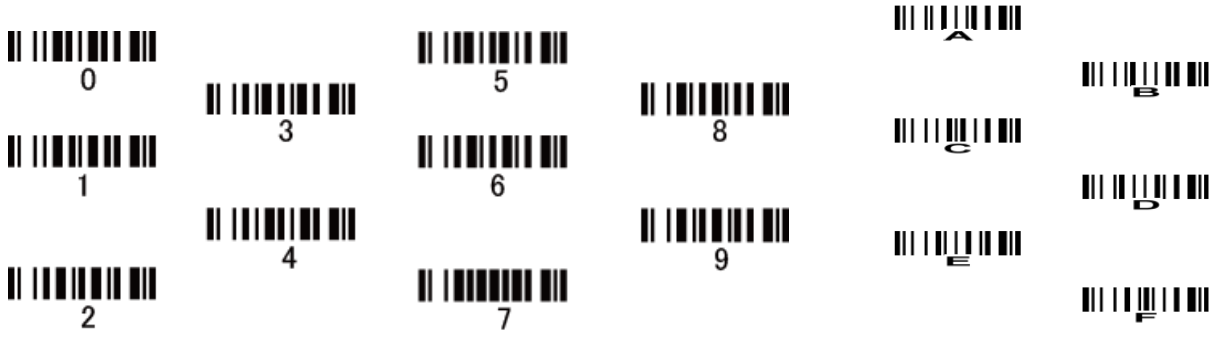


16-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 58 ※デフォルト内容:X</p>	<p>例：コード ID を X に指定したい場合は ASCII 表：X=58 「%SETUP」→「1806」→「5」→「8」→ 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 58 ※デフォルト内容：X</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



16-7 グループ選択を挿入



マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1807</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。





17. Codabar (NW-7)

17-1 Codabar の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1901	0→0	無効	 %1901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1901D01% *

17-2 Codabar チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1902	0→0	無効 ※デフォルト	 %1902D00% *
	0→1	有効	 %1902D01%

17-3 Codabar チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1903	0→0	無効 ※デフォルト	 %1903D00% *
	0→1	有効	 %1903D01%

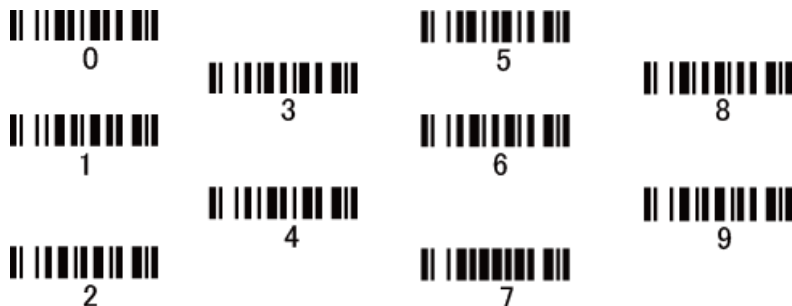
17-4 Codabar : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1904」 → 「1」 → 「0」 → 「%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



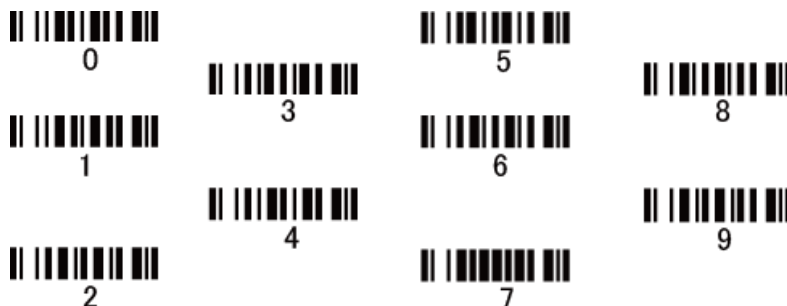
17-5 Codabar : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「1905」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。

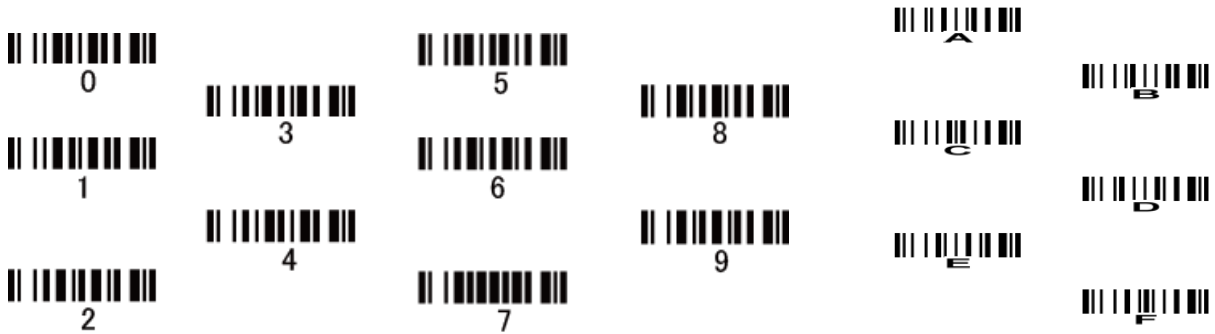


17-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a barcode labeled '1906'. A second blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A third blue arrow points down to a standard barcode labeled '%%%END'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4E ※デフォルト内容:N</p>	<p>例：コード ID を N に指定したい場合は ASCII 表：N=4E 「%SETUP」 → 「1906」 → 「4」 → 「E」 → 「%%%END」 の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4E ※デフォルト内容：N</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)

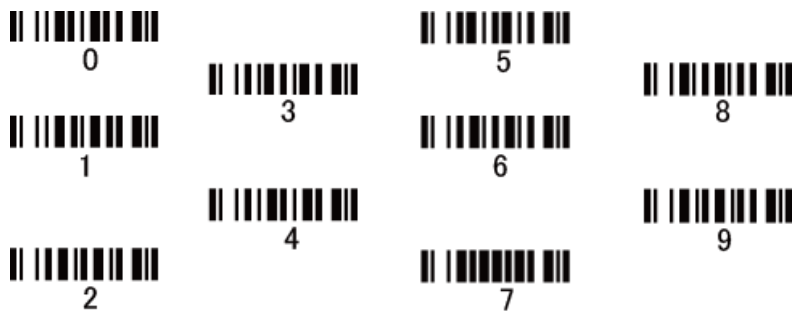


17-7 グループ選択を挿入





マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>1907</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）



数字コード部分に従って読み取りを行います。



17-8 Codabar Start/End タイプ

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1908	0→0	ABCD/ABCD ※デフォルト	 %1908D00% *
	0→1	abcd/abcd	 %1908D01%
	0→2	ABCD/TN*E	 %1908D02%
	0→3	abcd/tn*e	 %1908D03%

17-9 Codabar Start/End の送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1909	0→0	送信しない ※デフォルト	 %1909D00% *
	0→1	送信する	 %1909D01%



17-10 Codabar 先頭末尾確認

有効にすることで CodaBar の開始文字と終了文字が同じで無ければなりません。


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1910	0→0	無効 ※デフォルト	 %1910D00% *
	0→1	有効	 %1910D01%

18. Code128

18-1 Code128 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2001	0→0	無効	 %2001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2001D01% *

18-2 Code128 チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2002	0→0	無効	 %2002D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2002D01% *

18-3 Code128 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2003	0→0	無効 ※デフォルト	 %2003D00% *
	0→1	有効	 %2003D01%

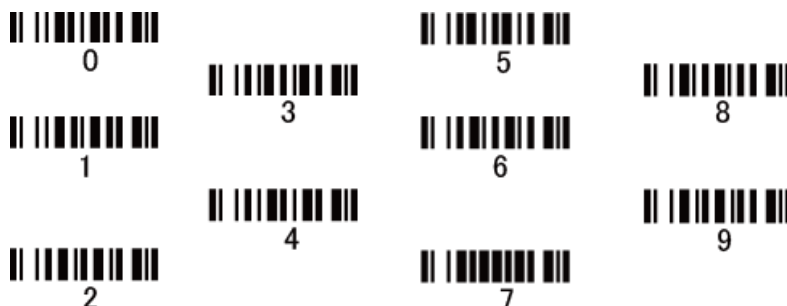
18-4 Code128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2004」 → 「1」 → 「0」 → 「%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



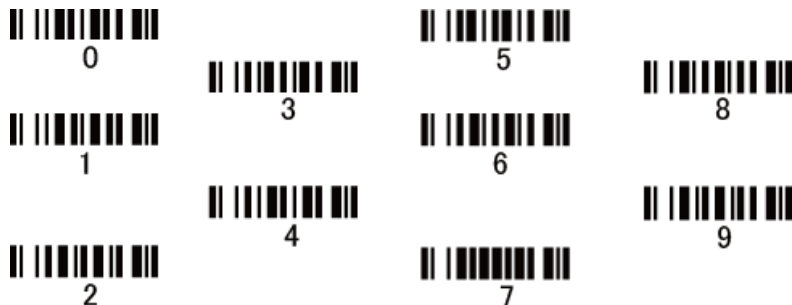
18-5 Code128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2005」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



18-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2006</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表)</p> <p>※デフォルト値 4B ※デフォルト内容:K</p>	<p>例：コード ID を K に指定したい場合は ASCII 表：K=4B 「%SETUP」 → 「2006」 → 「4」 → 「B」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4B ※デフォルト内容：K</p>

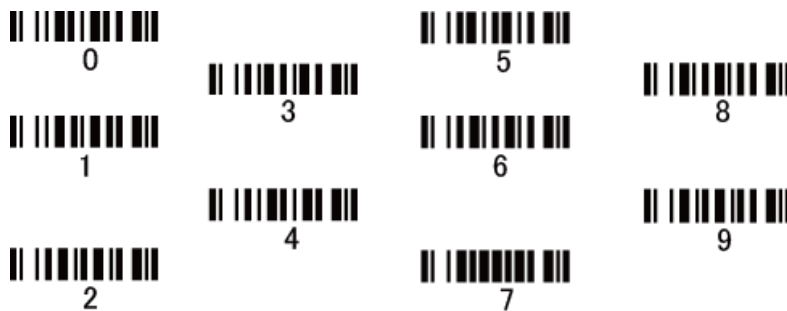
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)






18-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2007</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。





18-8 Code128 先頭 0 の切り捨て



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2008	0→0	無効 ※デフォルト	 %2008D00% *
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2008D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2008D02%

19. UCC/EAN 128

19-1 UCC/EAN 128 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2501	0→0	無効	 %2501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2501D01% *

19-2 UCC/EAN 128 チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2502	0→0	無効	 %2502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2502D01% *

19-3 UCC/EAN 128 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2503	0→0	無効 ※デフォルト	 %2503D00% *
	0→1	有効	 %2503D01%

19-4 UCC/EAN 128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2504」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



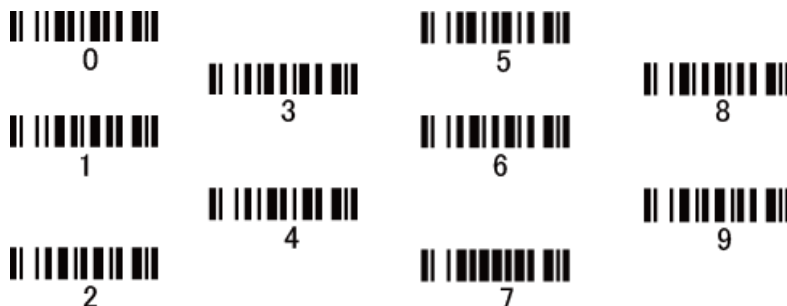
19-5 UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2505」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



18-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a second barcode labeled '2506'. Another blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A final blue arrow points down to a third barcode labeled '%%%END'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4B ※デフォルト内容:K</p>	<p>例：コード ID を K に指定したい場合は ASCII 表：K=4B 「%SETUP」 → 「2506」 → 「4」 → 「B」 → 「%%%END」 の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4B ※デフォルト内容：K</p>

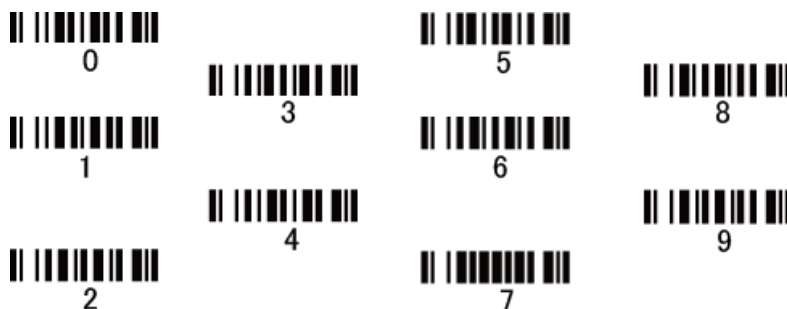
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)





18-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2507</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。





18-8 UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2508	0→0	無効 ※デフォルト	 %2508D00% *
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2508D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2508D02%

19. ISBT128

19-1 ISBT128 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3301	0→0	無効	 %3301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3301D01% *

19-2 ISBT128 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3302	0→0	無効	 %3302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3302D01% *

19-3 ISBT128 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3303	0→0	無効 ※デフォルト	 %3303D00% *
	0→1	有効	 %3303D01%

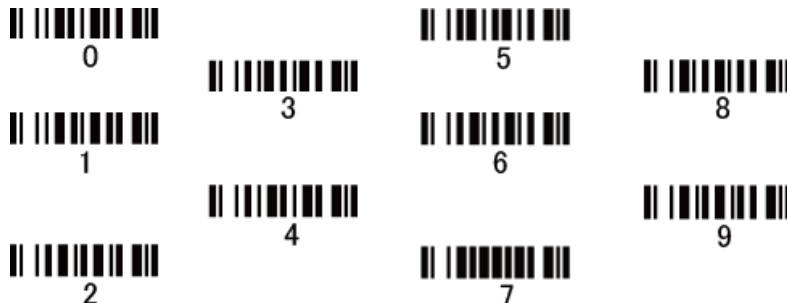
19-4 ISBT128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「3304」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



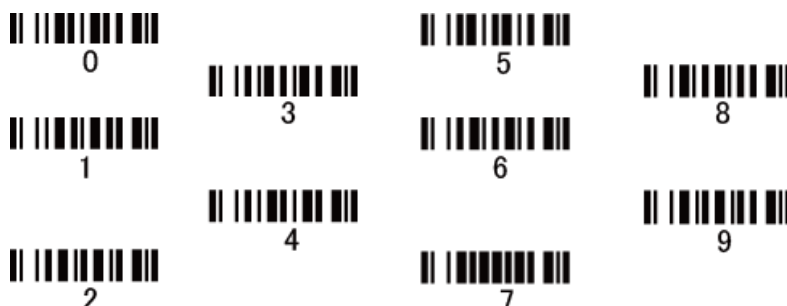
19-5 ISBT128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	00→99 ※デフォルト値は 01	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%SETUP」 → 「3305」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



19-6 コード ID カスタマイズ



コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a second barcode labeled '3306'. Another blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A final blue arrow points down to a third barcode labeled '%%%END'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4B ※デフォルト内容:K</p>	<p>例：コード ID を K に指定したい場合は ASCII 表：K=4B 「%SETUP」→「3306」→「4」→「B」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4B ※デフォルト内容：K</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



19-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>3307</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>



数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。




20. CODE93



20-1 CODE93 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2101	0→0	無効	 %2101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2101D01% *

20-2 CODE93 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2102	0→0	無効	 %2102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2102D01% *

20-3 CODE93 チェックディジットの送信

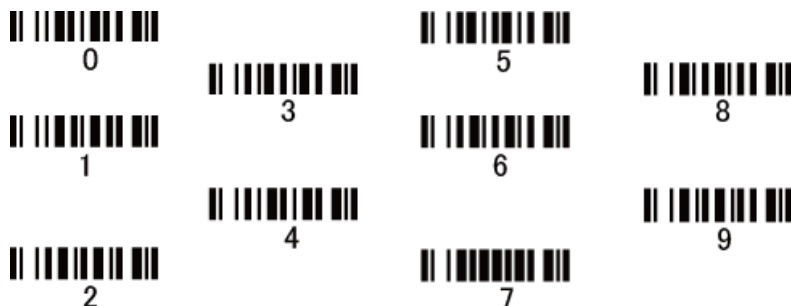
マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2103	0→0	無効 ※デフォルト	 %2103D00% *
	0→1	有効	 %2103D01%

20-4 CODE93 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。




マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2104」 → 「1」 → 「0」 → 「%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



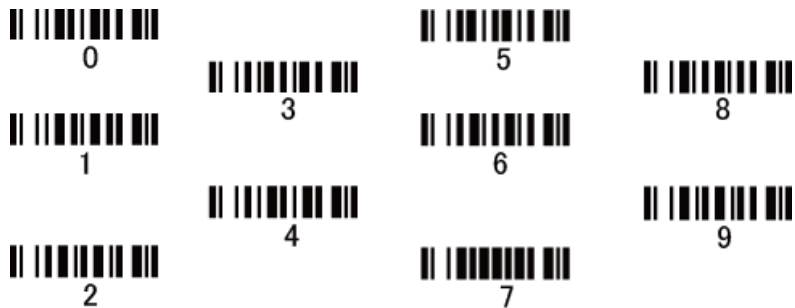
20-5 CODE93 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2105</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2105」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



20-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4C ※デフォルト内容:L</p>	<p>例：コード ID を L に指定したい場合は ASCII 表：L=4C 「%SETUP」→「2106」→「4」→「C」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4C ※デフォルト内容：L</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



0



3



5



8



A



B



1



6



C



D



2



4



7



9






E



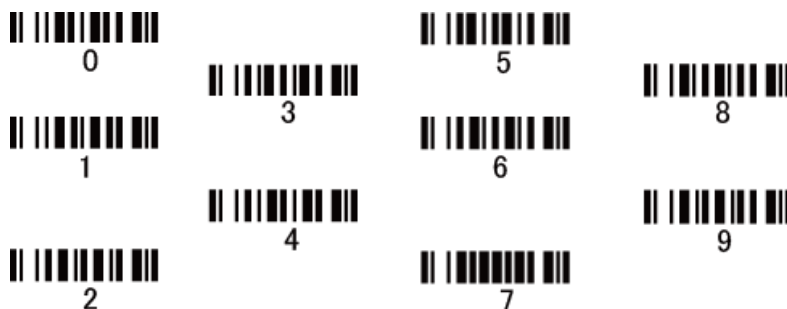
F

20-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2107</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01または10に設定して下さい。 グループ2→24または42に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



21. CODE11

21-1 CODE11 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2201	0→0	無効 ※デフォルト	%2201D00% *
	0→1	有効	%2201D01%

21-2 CODE11 チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2202	0→0	無効	%2202D00%
	0→1	1 デイジット ※デフォルト	%2202D01% *
	0→2	2 デイジット	%2202D02%

21-3 CODE11 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2203	0→0	無効 ※デフォルト	%2203D00% *
	0→1	有効	%2203D01%

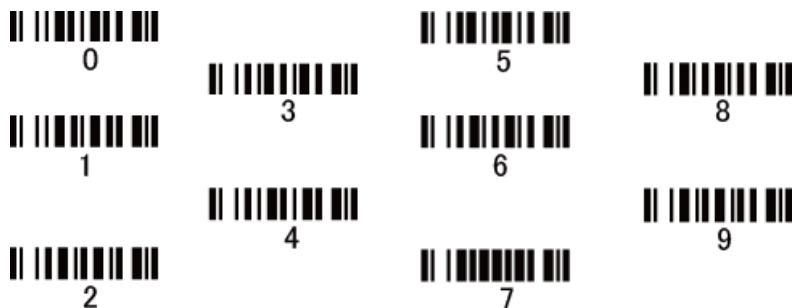
21-4 CODE11 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>マルチスキャンコード</p> <p>%SETUP</p> <p>↓</p> <p>2204</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p> <p>%%%</p> <p>END</p>	<p>数字コード</p> <p>00→99</p> <p>※デフォルト値は 99</p>	<p>内容</p> <p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%SETUP」 → 「2204」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



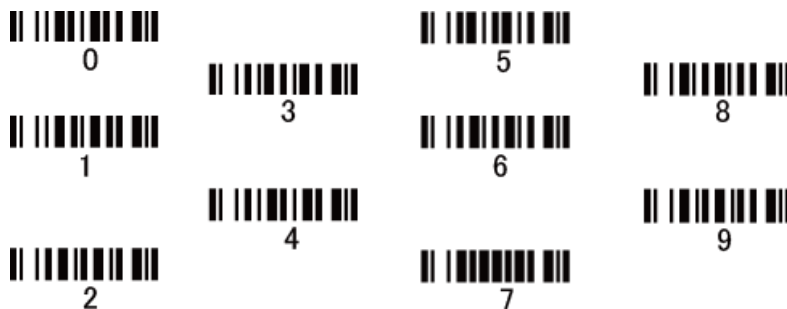
21-5 CODE11 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2205」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



21-6 コード ID カスタマイズ


コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a second barcode labeled '2206'. A second blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A third blue arrow points down to a third barcode labeled '%%%'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 56 ※デフォルト内容:V</p>	<p>例：コード ID を V に指定したい場合は ASCII 表：V=56 「%SETUP」→「2206」→「5」→「6」→ 「%%%'」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 56 ※デフォルト内容：V</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)

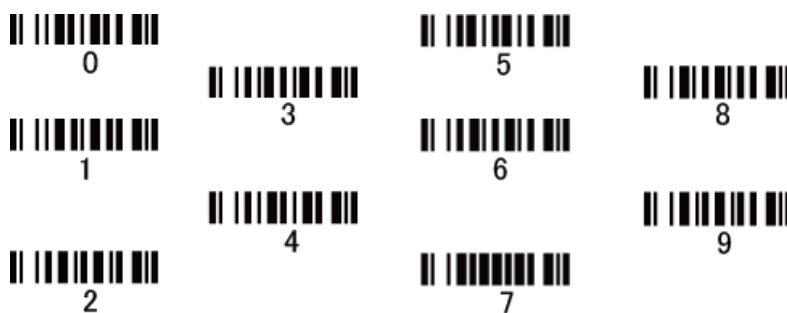


21-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2207</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>



数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



22. MSI/PLESSEY


22-1 MSI/PLESSEY の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2301	0→0	無効 ※デフォルト	 %2301D00% *
	0→1	有効	 %2301D01%

22-2 MSI/PLESSEY チェックディジットの確認




マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2302	0→0	無効 ※デフォルト	 %2302D00% *
	0→1	1 デイジット (mod10)	 %2302D01%
	0→2	2 デイジット (mod10/10)	 %2302D02%
	0→3	2 デイジット (mod11/10)	 %2302D03%

22-3 MSI/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2303	0→0	無効 ※デフォルト	 %2303D00% *
	0→1	有効	 %2303D01%

22-4 MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2304</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→99</p> <p>※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%SETUP」 → 「2304」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



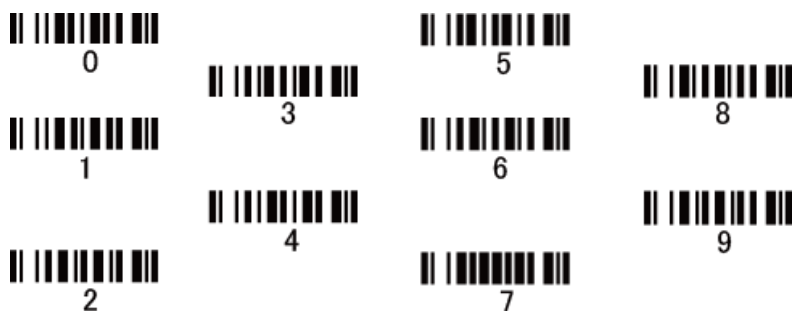
22-5 MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2305」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%'END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



22-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to another barcode labeled '2306'. A second blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A third blue arrow points down to a standard barcode labeled '%%%END'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4F ※デフォルト内容:0</p>	<p>例：コード ID を 0 に指定したい場合は ASCII 表：0=4F 「%SETUP」→「2306」→「4」→「F」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4F ※デフォルト内容：0</p>

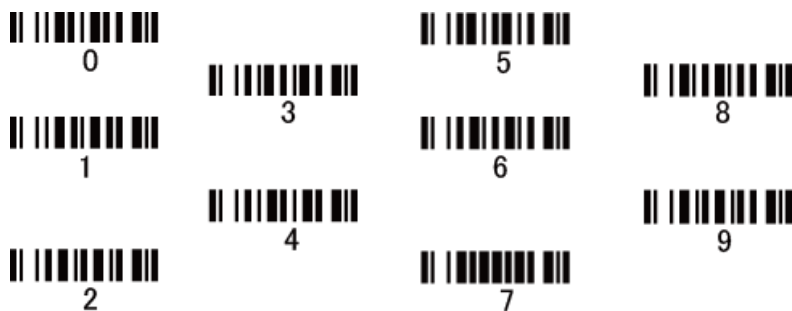
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



22-7 グループ選択を挿入


マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2307</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01または10に設定して下さい。 グループ2→24または42に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



23. UK/PLESSEY


23-1 UK/PLESSEY の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2401	0→0	無効 ※デフォルト	 %2401D00%
	0→1	有効	 %2401D01% *

23-2 UK/PLESSEY チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2402	0→0	無効 ※デフォルト	 %2402D00%
	0→1	1 デジット (mod10)	 %2402D01% *

23-3 UK/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2403	0→0	無効 ※デフォルト	 %2403D00% *
	0→1	有効	 %2403D01%

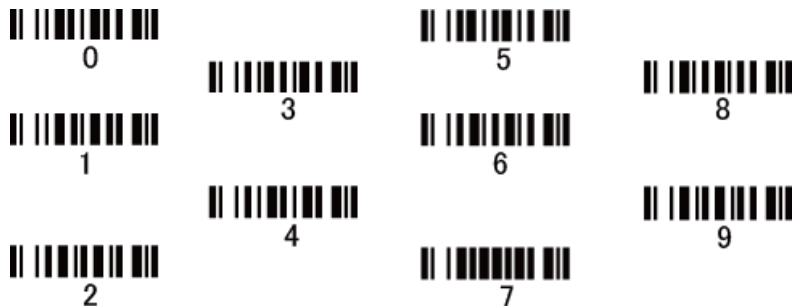
23-4 UK/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the scanning sequence for setting the maximum number of digits. It starts with a barcode labeled '%SETUP', followed by a downward arrow, then a barcode labeled '2404', another downward arrow, the text '数字コード' (Digital Code), a third downward arrow, and finally a barcode labeled '%%%' followed by 'END'.</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2404」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



23-5 UK/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the sequence of barcode scans. It starts with a barcode labeled "%SETUP". A blue arrow points down to a second barcode labeled "2405". Another blue arrow points down to the text "数字コード" (Digital Code). A final blue arrow points down to a third barcode labeled "%%%END".</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2405」 → 「0」 → 「8」 → 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



23-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a second barcode labeled '2406'. Another blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A final blue arrow points down to a third barcode labeled '%%%END'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 55 ※デフォルト内容:U</p>	<p>例：コード ID を U に指定したい場合は ASCII 表：U=55 「%SETUP」 → 「2406」 → 「5」 → 「5」 → 「%%%END」 の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 55 ※デフォルト内容：U</p>

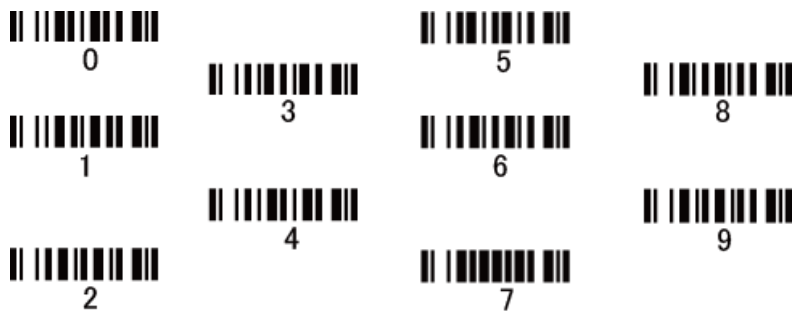
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



23-7 グループ選択を挿入


マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2407</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



24. CHINA POST

24-1 CHINA POST の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2601	0→0	無効	 %2601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2601D01% *

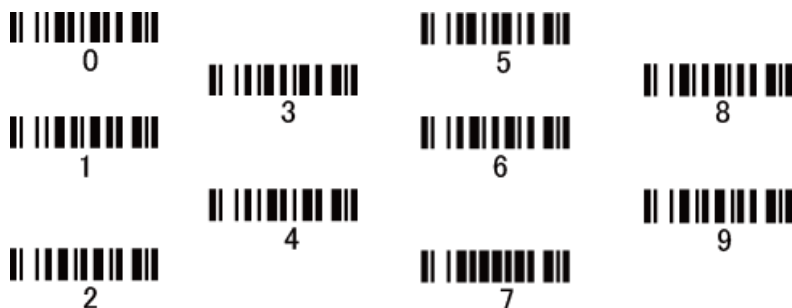
24-2 CHINA POST : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 11</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2604」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 11</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



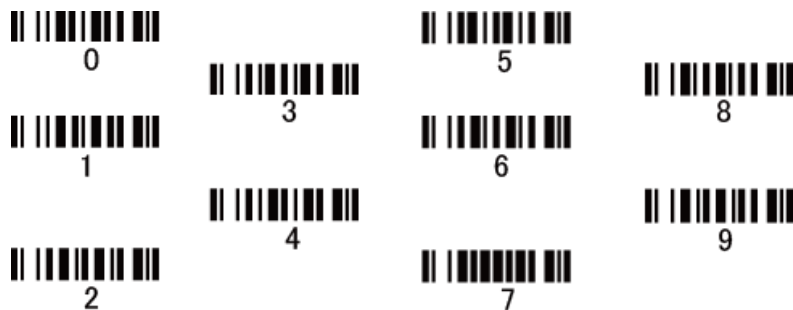
24-3 CHINA POST : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>00→99</p> <p>※デフォルト値は 11</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%SETUP」 → 「2605」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 11</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



24-4 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 54 ※デフォルト内容:T</p>	<p>例：コード ID を T に指定したい場合は ASCII 表：T=54 「%SETUP」→「2606」→「5」→「4」→ 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 54 ※デフォルト内容：T</p>

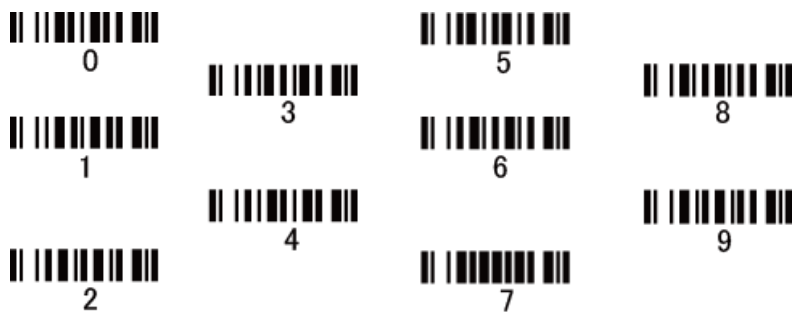
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



24-5 グループ選択を挿入



マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2607</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



25. TELEPEN



25-1 TELEPEN の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3501	0→0	無効	 %3501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3501D01% *

25-2 TELEPEN チェックディジットの確認


マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3502	0→0	無効	 %3502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3502D01% *

25-3 TELEPEN チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3503	0→0	無効 ※デフォルト	 %3503D00% *
	0→1	有効	 %3503D01%

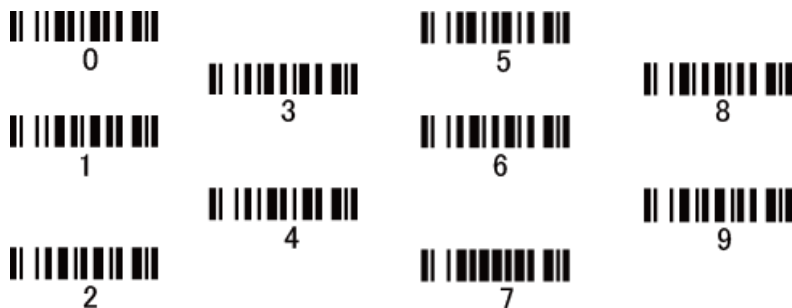
25-4 TELEPEN : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	00→99 ※デフォルト値は 99	<p>例：読取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「3504」 → 「1」 → 「0」 → 「%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



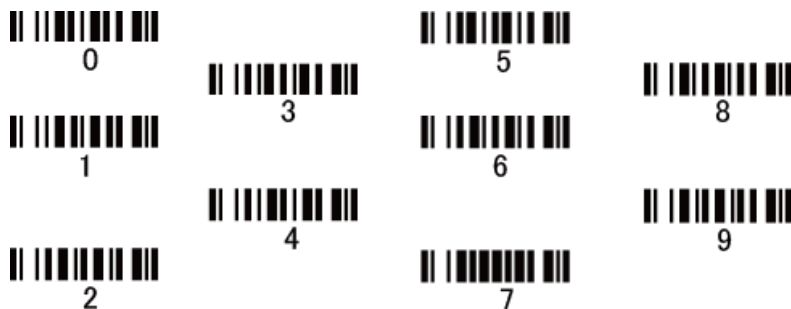
25-5 TELEPEN : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「3505」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



25-6 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of converting a multi-scan code. It starts with a barcode labeled '%SETUP'. A blue arrow points down to a barcode labeled '3506'. A second blue arrow points down to the text '数字コード' (Numeric Code). A third blue arrow points down to a standard barcode labeled '%%%'.</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 50 ※デフォルト内容:P</p>	<p>例：コード ID を P に指定したい場合は ASCII 表：P=50 「%SETUP」→「3506」→「5」→「0」→ 「%%%'」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 50 ※デフォルト内容：P</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



25-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>3507</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01または10に設定して下さい。 グループ2→24または42に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。</p>



数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



26. GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)

26-1 GS1 DataBar の読取り

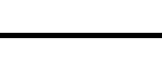
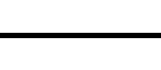
マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2701	0→0	無効	 %2701D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2701D01% *

26-2 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>マルチスキャンコード</p> <p>%SETUP</p> <p>↓</p> <p>2702</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p> <p>%%%</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表)</p> <p>※デフォルト値 52 ※デフォルト内容:R</p>	<p>例：コード ID を R に指定したい場合は ASCII 表：R=52 「%SETUP」→「2702」→「5」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 52 ※デフォルト内容：R</p>

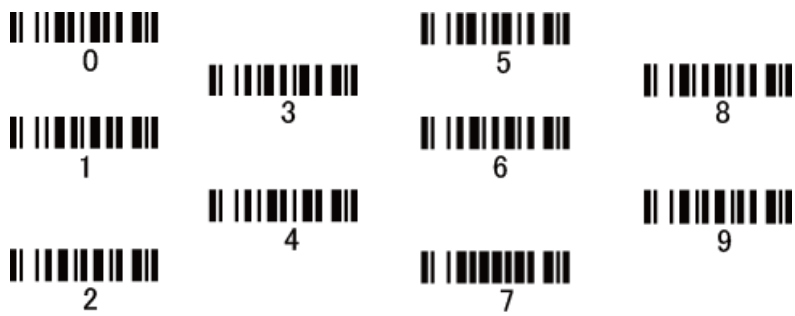
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)






26-3 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2703</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。




26-4 GS1 DataBar の変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2704	0→0	なし ※デフォルト	 %2704D00% *
	0→1	UCC/ JAN128	 %2704D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2704D02%

27. GS1 DataBar Limited

27-1 GS1 DataBar Limited の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2801	0→0	無効	 %2801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2801D01% *

28-2 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram illustrates the process of customizing a code ID. It starts with a multi-scan code represented by a barcode and the text "%SETUP". A blue arrow points down to a numeric code represented by a barcode and the text "2802". Another blue arrow points down to the text "数字コード" (Numeric Code). A final blue arrow points down to a standard code represented by a barcode and the text "%%%'".</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 52 ※デフォルト内容:R</p>	<p>例：コード ID を R に指定したい場合は ASCII 表：R=52 「%SETUP」→「2802」→「5」→「2」→ 「%%%'」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 52 ※デフォルト内容：R</p>

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)

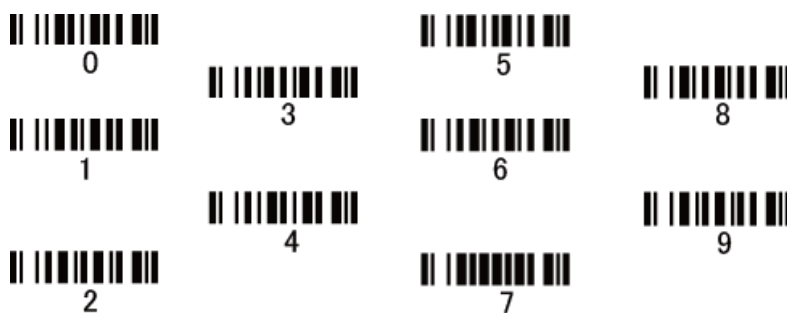


27-3 グループ選択を挿入




マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2803</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44 ※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。





27-4 GS1 DataBar Limited の変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2804	0→0	なし ※デフォルト	 %2804D00% *
	0→1	UCC/ JAN128	 %2804D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2804D02%

28. GS1 DataBar Expanded

28-1 GS1 DataBar Expanded の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2901	0→0	無効	 %2901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2901D01% *

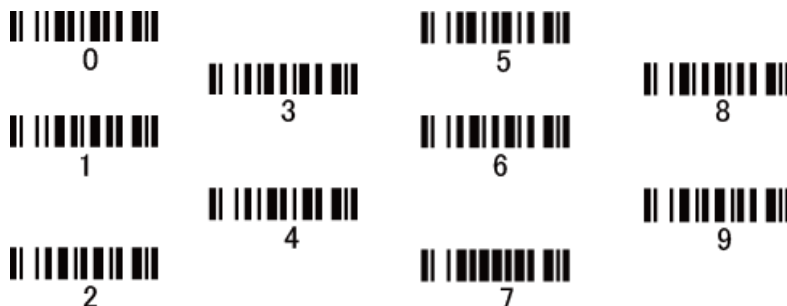
28-2 GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2902」 → 「1」 → 「0」 → 「%%%END」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99</p>


数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



28-3 GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">数字コード</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」 → 「2903」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



28-4 コード ID カスタマイズ




コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2904</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00-FF (16 進数) (ASCII 表)</p> <p>※デフォルト値 52 ※デフォルト内容:R</p>	<p>例：コード ID を R に指定したい場合は ASCII 表：R=52 「%SETUP」→「2904」→「5」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。</p> <p>※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 52 ※デフォルト内容：R</p>

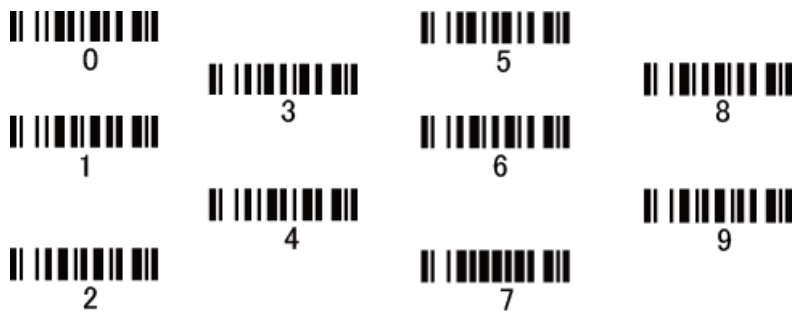
オプションコード読み取り (マルチスキャン用)





28-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>%SETUP</p> <p>↓</p>  <p>2905</p> <p>↓</p> <p>数字コード</p> <p>↓</p>  <p>%%%END</p>	<p>00→44</p> <p>※デフォルト値は00</p>	<p>例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で ず。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



28-6 GS1 DataBar Expanded の変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2906	0→0	なし ※デフォルト	 %2906D00% *
	0→1	UCC/EAN 128	 %2906D01%

29. 出力文字の編集-1

29-1 先頭に文字を付加する

読み取ったバーコードの先頭に文字を付加できます。付加できる文字数は 22 個まで。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	A 123456

1. 設定開始を読取ります。



2. 先頭付加設定を読取ります。



3. 付加する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
L	H	0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H	2	3	4	5	6	7
L						
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

例：付加記号

付加記号	数字コード
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



4. 文字の確定（%%%END）を読取ります。



5. 設定したコードの送信を有効にします。
下記のコードを順に読取ります。



29-2 末尾に文字を付加する

読み取ったバーコードの末尾に文字を付加できます。付加できる文字数は 22 個まで。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	123456 A

1. 設定開始を読取ります。



2. 末尾付加設定を読取ります。



3. 付加する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と 2 文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
	0	Null			NUL
1	Up	F1		SOH	DC1
2	Down	F2		STX	DC2
3	Left	F3		ETX	DC3
4	Right	F4		EOT	DC4
5	PgUp	F5		ENQ	NAK
6	PgDn	F6		ACK	SYN
7		F7		BEL	ETB
8	Bs	F8		BS	CAN
9	Tab	F9		HT	EM
A		F10		LF	SUB
B	Home	Esc		VT	ESC
C	End	F11		FF	FS
D	Enter	F12		CR	GS
E	Insert	Ctrl+		SO	RS
F	Delete	Alt+		SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



4. 文字の確定（%%%END）を読取ります。



5. 設定したコードの送信を有効にします。
下記のコードを順に読取ります。



29-3 文字を任意の位置に挿入する

読み取ったバーコードの指定した桁の間に文字の挿入が可能です。

例: 「AB」を2文字目の後に挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	12 AB 3456

1. 設定開始を読取ります。



2. キャラクタ付加のグループ登録先を設定する。
グループ登録先 1~4 から一つスキャナします。
登録グループごとにキャラクタ挿入することができます。
一つのグループに最大 22 桁のキャラクタを挿入できます。

グループ 1	 8005
グループ 2	 8006
グループ 3	 8007
グループ 4	 8008

3. 挿入する文字を設定します。
「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。
「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。
※数字コードは次ページにございます。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



4. 文字の確定（%%%END）を読取ります。



5. 設定開始を読取ります。



6. 挿入グループを指定します。

「2. キャラクタ付加のグループ登録先を設定する」で設定した内容に応じて選択する。

グループ 1 に登録した場合	 8101
グループ 2 に登録した場合	 8102
グループ 3 に登録した場合	 8103
グループ 4 に登録した場合	 8104

7. 挿入する位置を指定します。

上記の数字コードから挿入する桁数を読取ります。

2 桁目のコードの後に挿入する場合は「0」→「2」を読取ります。

8. 設定終了（%%%END）を読取ります。



9. 設定した内容を反映する

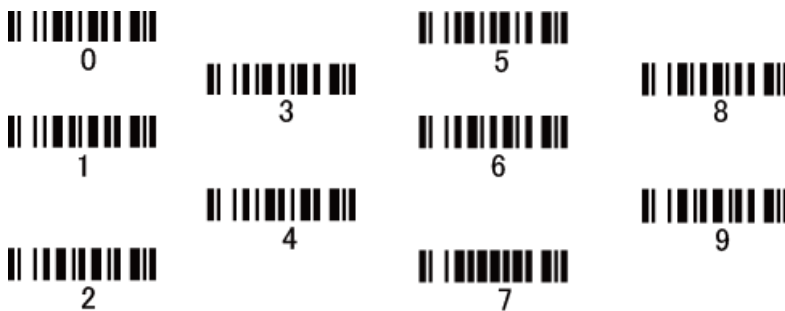
下記のコードを順に読取ります。

設定開始	 %SETUP
グループ登録有効	 0407
グループ登録の対応コード 「グループ 1」:「0」→「1」の順番 「グループ 2」:「0」→「2」の順番 「グループ 3」:「0」→「3」の順番 「グループ 4」:「0」→「4」の順番 グループ登録の内容に合わせて数字コードを読み取って下さい。	数字コードを参照して下さい
設定終了	 %%%END

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



29-4 指定した文字を別の文字に置き換える。(置換機能)

指定したバーコードに含まれる文字を別の文字に置き換えることができます。

置き換えパターンは2パターンまで登録が可能です。

例: 「A」を「B」に置き換える設定を行った場合

元のデータ	123 A5A
設定後の出力データ	123 B5B

1. 設定開始を読取ります。



2. 置き換え文字の登録を行います。

初めて登録する場合はパターン1、追加で登録する場合はパターン2の読取りを行います。

パターン1



パターン2



3. 置き換えたい文字を選択して設定します。

「A」を別の文字にする場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

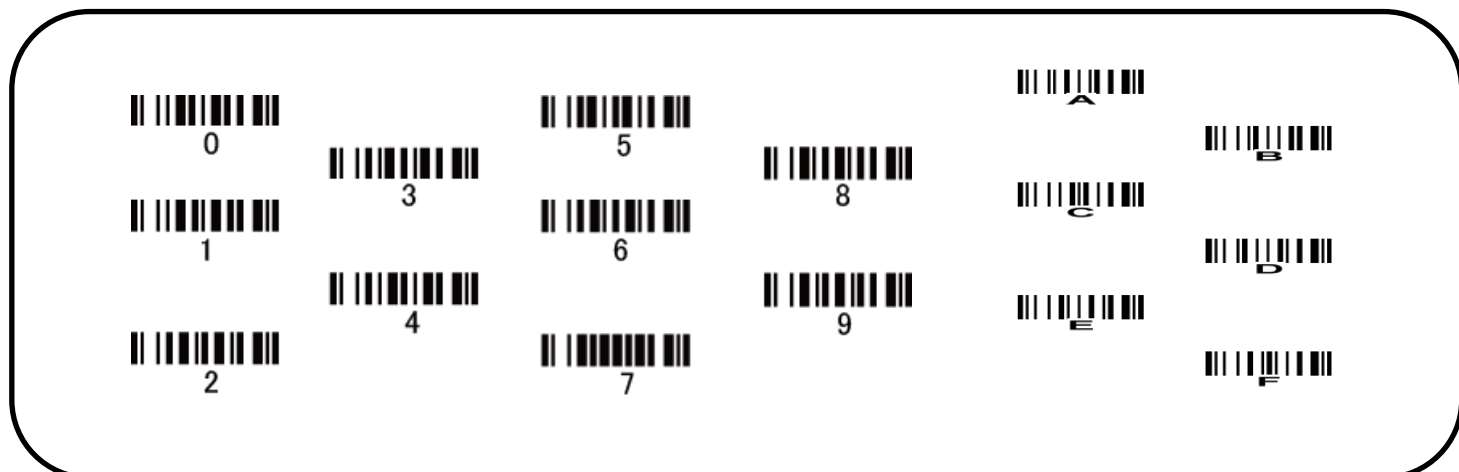
		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



4. どの文字に置き換えるかを設定します。

設定した文字を「B」に文字を置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
A	6→1

◆数字コード



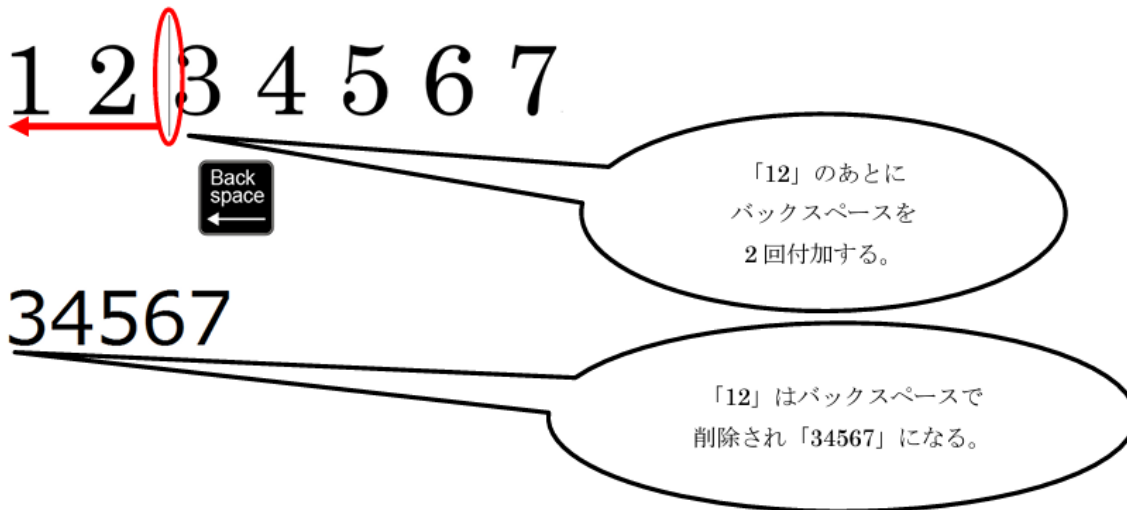
5. 設定終了の「%%%END」を読取ります。



29-5 文字列の削除 (back space 付加)

バーコードデータに back space/バックスペースを入れることで削除になります。

例：「1234567」の先頭2文字を削除する（2桁目から back space を2つ付加する）



・下記のような設定は可能です。

例1：バーコード「12345」から3桁目を消して「1245」と送信する。

例2：バーコード「12345」の1～3桁目を消して「45」と送信する。

例3：バーコード「12345」の4,5桁目を消して「123」と送信する。

例4：バーコードの種類が「CODE39の場合のみ」3桁目を削除する。

・下記のような設定は出来ません。

例：バーコード「12345」から1桁目、3桁目、5桁目を消して「24」と送信する。

1. 下記の2つのコードを読取ります。



2. 削除開始位置を設定します。

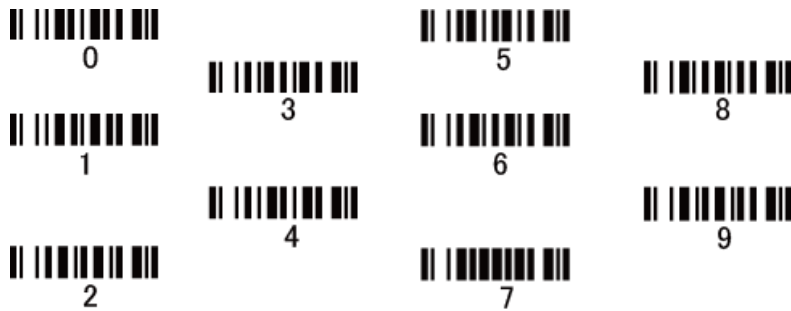
例1：2桁目だけ、または3桁目以前を削除する場合は「0」→「3」の順で読取ります。

数字コードを参照して下さい。

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



3. 設定終了の「%%%END」を読取ります



4. 下記の2つのコードを読取ります。



5. back space を付加する数を選択します。

例1：1文字だけ削除する場合は「0」→「8」を1回読取ります。

例2：2文字を削除する場合は「0」→「8」を2回読取ります。

類似：3文字を削除するなら3回

4文字を削除するなら4回

...



6. 設定終了の「%%%END」を読取ります



7. 設定したコードの送信を有効にします。

下記のコードを順に読取ります。



設定開始



0407



0



1



設定完了

30.出力文字の編集-2



30-1 バーコードの種類名の表示

バーコードの種類名（CODE39 や CodaBar 等）を表示させることができます。

例：12345 という CODE39 のバーコードを読み取った場合「**CODE39** 12345」と

先頭にコードの名称が表示されます。

※JAN 等の一部のコードは EAN 等と一部、海外表記・別称で表記されます。




マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8203	0→0	無効 ※デフォルト	 %8203D00% *
	0→1	有効	 %8203D01%

30-2 コード ID の表示

バーコードに割り振られたコード番号を送信することが可能です。

このコードは別途、任意に割り振ることも可能です。

詳細は P164 ページをご確認下さい。



マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8206	0→0	無効 ※デフォルト	 %8206D00% *
	0→1	Proprietary ID	 %8206D01%
	0→2	AIM ID	 %8206D02%

30-3 バーコードの文字数の出力

バーコードに含まれている文字数を出力できます。

例：「12345」バーコードを読み取った場合「**5** 12345」と

先頭に文字数が表記されます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8207	0→0	無効 ※デフォルト	 %8207D00% *
	0→1	有効	 %8207D01%

30-4 大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信

設定を行うことでバーコードの大文字・小文字を任意に指定して送信が可能です。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8208	0→0	無効 ※デフォルト	%8208D00% *
	0→1	大文字 (バーコードのみ)	%8208D01%
	0→2	小文字 (バーコードのみ)	%8208D02%
	0→3	小文字 (全てのデータ)	%8208D03%
	0→4	小文字 (全てのデータ)	%8208D04%

30-5 制御キャラクタの末尾付加コード出力設定

有効に設定すると制御キャラクタの末尾付加コードを出力することが可能です。

無効に設定すると制御キャラクタの末尾付加コードを出力なしで送信します。

※制御キャラクタは ASCII 表の 00~1F までの内容です。

※制御キャラクタのみに対応します。

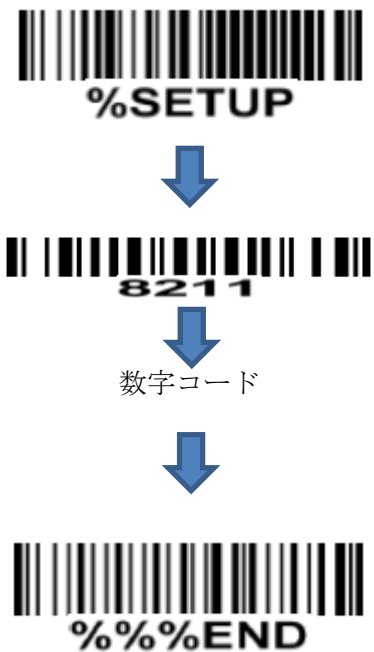
例 1：数字 12345+制御キャラクタ TAB の組合になると、この設定内容は無効となります。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8210	0→0	無効 ※デフォルト	%8210D00% *
	0→1	有効	%8210D01%

30-6 先頭から文字を抜き出す

先頭から文字を抜き出すことができます。

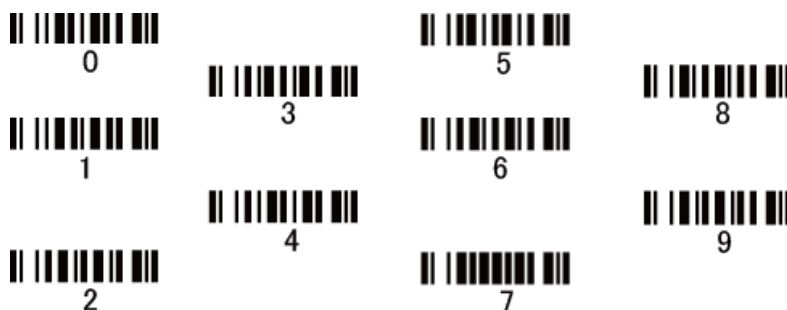
※中間文字の抜き出しはできません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>01→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：「12345678」というコードの先頭から 4 桁まで出力しかしません 「%SETUP」→「8211」→「0」→「4」→「%%%END」の順で読み取る。 出力結果：1234</p> <p>※デフォルト値は 99</p>

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

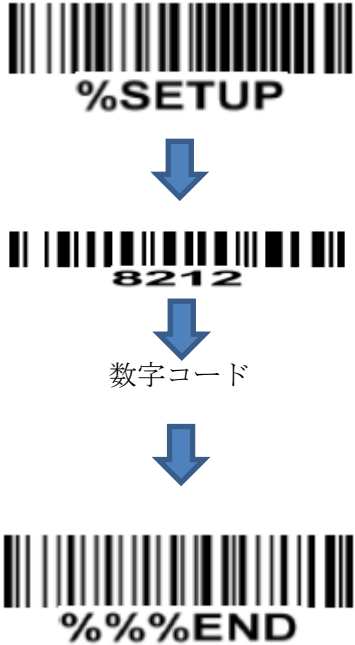
数字コード部分に従って読み取りを行います。



30-7 末尾から文字を抜き出す

末尾から文字を抜き出すことができます。

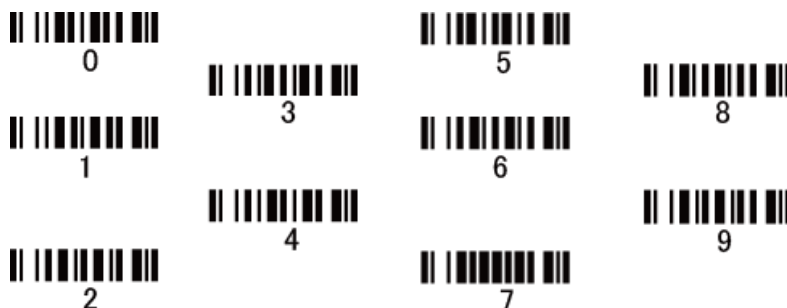
※中間文字の抜き出しはできません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>01→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：「12345678」というコードの末尾から 4 桁まで出力しかしません 「%SETUP」→「8212」→「0」→「4」→「%%%END」の順で読み取る。 出力結果：5678</p> <p>※デフォルト値は 99</p>

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



31.各バーコードのデフォルト設定参照

コードタイプ	読み取り 可能か	チェックデ ジット確認	チェックデ ジット送信	最小コードの 長さ	プロパティ コード ID	AIM コード ID
UPC-A	○	○	○	(12) ²	A]Em
UPC-E	○	○	○	(8) ²	D]Em
JAN-13	○	○	○	(13) ²	A]Em
JAN-8	○	○	○	(8) ²	C]Em
ISBN	○	○	○	(13) ²	A]Em
Code39	○			1	M]Am
Interleaved 2 of 5	○			6	I]Im
Industrial 2 of 5				4	H]Im
Matrix 2 of 5	○			6	X]Im
Codabar	○			4	N]Fm
Code 128	○	○		1	K]Cm
Code 93	○	○		1	L]Gm
Code 11		○		4	V	-
MSI/Plessey				4	O]Mm
UK/Plessey	○	○		1	U]Mm
UCC/EAN 128	○	○		1	K]Cm
GS1 DataBar	○			(16) ²	R]em

32.ASCII コード表

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

使い方: “A” = “41” . のため、次のページの
オプションコードから「4」→「1」と読み取ります。

33.オプションコード表



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F

◆初期化

バーコードリーダーの設定を工場出荷時のものにします。



◆バージョンの確認

メモ帳や Excel などを開いて読取りを行います。



◆サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



UPC-E1



EAN-13



ISBN/ISSN



EAN-8



Code 39



Code 32



Trioptic Code 39

(デフォルト値OFF)



\$123456\$

Interleaved 2 of 5



0123456789

Industrial 2 of 5

(デフォルトOFF)



0123456789

Matrix 2 of 5



9876543210

Codabar



a01+-.:/ \$89a

Code 128



01AZ[+-*]/za98

UCC/EAN 128



01AZ[]+ -az54

ISBT 128



=1234 56789

Code 93



01AZ+/*az89

Code 11

(デフォルトOFF)



123456789-0

MSI/Plessey

(デフォルトOFF)



0123456789

GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)



(01) 12345678901231

GS1 DataBar Limited



(01) 1 2345678 90126 2

GS1 DataBar Expanded



Ab_09+yZ